

計	八	七	六	五	四	三	二	専用一
六、〇〇〇	八	八	一三	二一	五五	一〇五	四二〇	三、五七〇
	三七	二九	二一	一一	六一	三七〇	二五〇	一三〇
	四四五	三四九	二五三	一三三	七三	四四四	三〇〇	一五六〇
一〇〇、二二四	三、五六一	二、七九三	三、二九一	二、七九七	四、〇二六	四、六六二	一、六〇〇	五五、六九二
	四〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇	五〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇
	四、八〇〇	三、六〇〇	二、四〇〇	一、二〇〇	六〇〇	三六〇	二四〇	一二〇
八三一、六〇〇	三八、四〇〇	二八、八〇〇	三一、二〇〇	二五、二〇〇	三三、〇〇〇	三七、八〇〇	一〇〇、八〇〇	四二八、四〇〇

即ち給水人口三萬人ニ對シ使用料收入ハ一ヶ年拾萬貳百貳拾四圓ニシテ一人當平均參圓參拾四錢トナル仍テ一ヶ年收入ヲ參圓參拾錢ト見込ム

一方此ノ場合ノ水量ヲ見ルニ八十三萬一千六百立方メートルニシテ一人當平均二十七立方メートルナリ本計畫ニ於ケル一人當平均三十六立方メートルニ對シテ約七十六パーセントニ當リ損失水量ヲ見込ムモ尙多少ノ收入増加ヲ豫想シ得ラレ給水人口一人當一ヶ年參圓參拾錢ト見込タルハ適當ナリト思料ス

### 第二節 繼續年期及支出方法

水道布設費繼續年期及支出方法左記の如く定めたり。

自昭和十一年度 銚子市上水道布設費繼續年期及支出方法  
至昭和十三年度

一金六拾五萬圓 上水道布設費

内 譯

- 金拾七萬圓 昭和十一年度支出額
  - 金貳拾五萬圓 昭和十二年度支出額
  - 金貳拾參萬圓 昭和十三年度支出額
- 右上水道布設費トシテ支出スルモノトス

銚子市繼續費上水道布設費收支計算表

收 入

第六章 財 政



合 計	二、事務費			種 目											
	三、豫備費	二、市債	一、市債	五、建築費	六、電話費	七、検査費	八、運搬費	九、測量及製圖費	十、機器機具費	十一、用地及補償費	十二、雜費	一、俸給	二、雜給	三、需用費	一、豫備費
120,000	22,200	137,800	137,800	13,700	3,000	3,000	3,000	3,000	1,000	1,000	3,000	3,000	2,000	2,000	10,000
210,000	15,000	195,000	195,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
300,000	15,000	285,000	285,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
400,000	10,000	390,000	390,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000

支出

科 目	種 目			附 記
	一、市債	一、市債	一、市債	
昭和十一年度	120,000	120,000	120,000	
昭和十二年度	210,000	210,000	210,000	
昭和十三年度	300,000	300,000	300,000	
計	630,000	630,000	630,000	
一、水源地費	30,000	30,000	30,000	
二、淨水場費	50,000	50,000	50,000	
三、給水場費	100,000	100,000	100,000	
四、配水管費	30,000	30,000	30,000	

科 目	種 目			附 記
	一、市債	一、市債	一、市債	
昭和十一年度	120,000	120,000	120,000	
昭和十二年度	210,000	210,000	210,000	
昭和十三年度	300,000	300,000	300,000	
計	630,000	630,000	630,000	
一、市債	630,000	630,000	630,000	



銚子市上水道誌

自昭和十一年度 銚子市上水道費(布設費)繼續年期及支出方法  
 至昭和十三年度  
 一金七萬八千參百貳拾五圓 上水道費(布設費)  
 (ヲ除ク)

内 譯

金參千八百貳拾五圓也 昭和十一年度支出額  
 金貳萬六千參百五拾八圓也 昭和十二年度支出額  
 金四萬八千四百貳圓也 昭和十三年度支出額  
 右上水道經營費トシテ支出スルモノトス

銚子市繼續費上水道經營費收支計算表

收 入

科 目	昭和十一年度			昭和十二年度			昭和十三年度			計	種 目	金 額	附 記
	一、補助金	二、補助金庫	三、補助金費	一、補助金	二、補助金庫	三、補助金費	一、補助金	二、補助金庫	三、補助金費				
一、補助金	1,900	000	000	000	000	000	000	000	000	1,900			
二、補助金庫	—	000	000	000	000	000	000	000	000	—			
三、補助金費	1,000	000	000	000	000	000	000	000	000	1,000			
計	2,900	000	000	000	000	000	000	000	000	2,900			
一、補助金	1,900	000	000	000	000	000	000	000	000	1,900			
二、補助金庫	—	000	000	000	000	000	000	000	000	—			
三、補助金費	1,000	000	000	000	000	000	000	000	000	1,000			

支 出

科 目	昭和十一年度			昭和十二年度			昭和十三年度			計	種 目	金 額	附 記
	一、水	二、事務費	三、雜收入	一、水	二、事務費	三、雜收入	一、水	二、事務費	三、雜收入				
一、水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
二、事務費	—	7,848	—	—	18,843	—	—	26,330	—	—			
三、雜收入	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
計	—	7,848	—	—	18,843	—	—	26,330	—	—			
一、水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
二、事務費	—	7,848	—	—	18,843	—	—	26,330	—	—			
三、雜收入	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			

第六章 財 政







科	款	項目	昭和十一年度				昭和十二年度				昭和十三年度				計	種目	金額	附記	明
			一、工事費	二、市債	三、市債	五、市債	一、工事費	二、市債	三、市債	五、市債	一、工事費	二、市債	三、市債	五、市債					
一、布上設水道	一、	一、	1,000,000				1,100,000				1,100,000				3,200,000	一、	3,200,000		
			1,000,000				1,100,000				1,100,000				3,200,000	二、	3,200,000		
			1,000,000				1,100,000				1,100,000				3,200,000	三、	3,200,000		
			1,000,000				1,100,000				1,100,000				3,200,000	四、	3,200,000		
			1,000,000				1,100,000				1,100,000				3,200,000	五、	3,200,000		
			1,000,000				1,100,000				1,100,000				3,200,000	六、	3,200,000		
			1,000,000				1,100,000				1,100,000				3,200,000	七、	3,200,000		
			1,000,000				1,100,000				1,100,000				3,200,000	八、	3,200,000		
			1,000,000				1,100,000				1,100,000				3,200,000	九、	3,200,000		
			1,000,000				1,100,000				1,100,000				3,200,000	十、	3,200,000		
			1,000,000				1,100,000				1,100,000				3,200,000	十一、	3,200,000		
			1,000,000				1,100,000				1,100,000				3,200,000	十二、	3,200,000		

支出

科	款	項目	昭和十一年度				昭和十二年度				昭和十三年度				計	種目	金額	附記	明
			一、工事費	二、市債	三、市債	五、市債	一、工事費	二、市債	三、市債	五、市債	一、工事費	二、市債	三、市債	五、市債					
一、布上設水道	一、	一、	1,000,000				1,100,000				1,100,000				3,200,000	一、	3,200,000		
			1,000,000				1,100,000				1,100,000				3,200,000	二、	3,200,000		
			1,000,000				1,100,000				1,100,000				3,200,000	三、	3,200,000		
			1,000,000				1,100,000				1,100,000				3,200,000	四、	3,200,000		
			1,000,000				1,100,000				1,100,000				3,200,000	五、	3,200,000		
			1,000,000				1,100,000				1,100,000				3,200,000	六、	3,200,000		
			1,000,000				1,100,000				1,100,000				3,200,000	七、	3,200,000		
			1,000,000				1,100,000				1,100,000				3,200,000	八、	3,200,000		
			1,000,000				1,100,000				1,100,000				3,200,000	九、	3,200,000		
			1,000,000				1,100,000				1,100,000				3,200,000	十、	3,200,000		
			1,000,000				1,100,000				1,100,000				3,200,000	十一、	3,200,000		
			1,000,000				1,100,000				1,100,000				3,200,000	十二、	3,200,000		



合 計	自昭和十一年度 銚子市上水道布設費繼續年及支出方法變更ノ件				至昭和十三年度 銚子市上水道布設費繼續年及支出方法變更ノ件			
	一、公債費	二、作業費	三、修繕費	四、豫備費	一、公債費	二、作業費	三、修繕費	四、豫備費
一、給料	八、七三〇							
二、雜給	四、〇〇〇							
三、需用費	四、四七〇							
一、作業費	九、一七〇							
一、修繕費	七〇〇							
一、豫備費	九〇〇							
一、公債費	二、一七〇							
合 計	二七、八三三	二七、八三三	二七、八三三	二七、八三三	二七、八三三	二七、八三三	二七、八三三	二七、八三三

自昭和十一年度 銚子市上水道布設費繼續年及支出方法變更ノ件  
 至昭和十三年度 銚子市上水道布設費繼續年及支出方法變更ノ件

モノトス

記

自昭和十一年度 銚子市上水道布設費繼續年及支出方法  
 至昭和十三年度  
 金六拾五萬五千參百八拾八圓也 上水道布設費  
 内 譯  
 金四拾貳萬圓也 既往年度支出額  
 金貳拾參萬五千參百八拾八圓也 昭和十三年度支出額  
 右上水道布設費トシテ支出スルモノトス

銚子市繼續費上水道布設費收支計算表

收 入

科 目	既往年度		昭和十三年度		計	種 目	金 額	附 記
	一、市債	一、市債	一、市債	一、市債				
一、市債	〇	〇	〇	〇	〇			
二、市債	〇	〇	〇	〇	〇			
合 計	〇	〇	〇	〇	〇			



科 目	一、布設水道費		二、事務費		三、豫備費	
	一、工事費	二、雑収入	一、雑収入	二、市債	一、雑収入	二、市債
一、水源地費	100,000		10,000		10,000	
二、淨水場費	100,000		10,000		10,000	
三、給水場費	100,000		10,000		10,000	
四、配水管費	100,000		10,000		10,000	
五、建築費	100,000		10,000		10,000	
六、電話費	100,000		10,000		10,000	
七、検査費	100,000		10,000		10,000	
八、運搬費	100,000		10,000		10,000	
九、測量及製圖費	100,000		10,000		10,000	
一〇、器具機械費	100,000		10,000		10,000	
一一、用地及補償費	100,000		10,000		10,000	
一二、雜工事費	100,000		10,000		10,000	
合計	3,000,000		300,000		300,000	

科 目	一、布設水道費		二、雑収入		種 目	金 額	附 記
	一、工事費	二、雑収入	一、雑収入	二、市債			
一、水源地費	100,000		10,000		一、工費收入	4,575	
二、淨水場費	100,000		10,000		二、過入金拂	83	本過拂入金ハ昭和十二年ニ於テ鐵道省ニ支拂ヒタルモノナリ
三、給水場費	100,000		10,000		合計	4,658	
合計	3,000,000		300,000		合計	5,241	



合 計	1,107,000	3,331,368	6,331,368
-----	-----------	-----------	-----------

第三節 各年度豫算及決算

水道布設費各年度豫算並決算左の如し。

昭和十一年度銚子市特別會計上水道費歳入歳出豫算

歳 入	一金拾七萬參千八百貳拾五圓	歳入豫算高
歳 出	一金拾七萬參千八百貳拾五圓	歳出豫算高
	歳入歳出差引殘金ナシ	

昭和十一年度銚子市特別會計上水道費歳入歳出豫算

歳 入

△印ハ減

科 目	項 目	豫 算 額	種 目	本 年 度 豫 算 額	前 年 度 豫 算 額	増 減	附 記
一、縣補助金	一、縣補助金	一、七〇〇〇	一、縣補助金	一、七〇〇〇	—	一、七〇〇〇	
二、繰入金	一、繰入金	一、七〇〇〇	一、繰入金	一、七〇〇〇	—	一、七〇〇〇	
三、雜收入	一、雜收入	四二五	一、一般市費 ヨリ繰入	一、七〇〇	—	一、七〇〇	
四、市 債	一、市 債	一七〇,〇〇〇	一、預金利子	一七〇,〇〇〇	—	一七〇,〇〇〇	
歳 入 合 計		一七三,八二五		一七三,八二五	—	一七三,八二五	































銚子市上水道誌

昭和十二年度銚子市特別會計上水道費歲入歲出決算

歲入

一金四拾貳萬七千五百五圓四拾貳錢

歲入決算高

歲出

一金貳拾五萬六千壹百九拾六圓參拾八錢

歲出決算高

歲入歲出差引殘金拾七萬壹千參百九圓四錢

翌年度繰越金

歲入

(△印ハ減)

科 目	豫 算 額	決 算 額	比 較 増 減	附 記
第一款 補助金	四、七〇〇〇〇	二、六〇〇〇〇	△二、一〇〇〇〇	
第二項 國庫補助金	五〇〇〇〇		△五〇〇〇〇	
第一項 國庫補助金	五〇〇〇〇		△五〇〇〇〇	
第二項 縣補助金	四、二〇〇〇〇	二、六〇〇〇〇	△一、六〇〇〇〇	
第一項 縣補助金	四、二〇〇〇〇	二、六〇〇〇〇	△一、六〇〇〇〇	
第二款 使 用 料	一、一、三〇七〇〇		△一、一、三〇七〇〇	
第一項 水道使用料	一、一、三〇七〇〇		△一、一、三〇七〇〇	

第一目 水道使用料	一、一、三〇七〇〇		△一、一、三〇七〇〇	
第三款 繰 入 金	七、七八九〇〇	七、七八九〇〇		
第一項 繰 入 金	七、七八九〇〇	七、七八九〇〇		
第一目 一般市費ヨリ繰入	七、七八九〇〇	七、七八九〇〇		
第四款 雜 收 入	一、五六二〇〇	三、三一九九二	一、七五七九二	
第一項 雜 收 入	一、五六二〇〇	三、三一九九二	一、七五七九二	
第一目 預金利息	一、五六二〇〇	三、三一九九二	一、七五七九二	
第五款 市 債	二五〇、〇〇〇〇	二五〇、〇〇〇〇		
第一項 市 債	二五〇、〇〇〇〇	二五〇、〇〇〇〇		
第一目 市 債	二五〇、〇〇〇〇	二五〇、〇〇〇〇		
第六款 繰 越 金	一六三、七九六五〇	一六三、七九六五〇		
第一項 繰 越 金	一六三、七九六五〇	一六三、七九六五〇		
第一目 繰 越 金	一六三、七九六五〇	一六三、七九六五〇		
歲 入 合 計	四四〇、一五四五〇	四二七、五〇五四二	△一二、六四九〇八	

歲 出  
第六章 財 政



科 目	豫 算 額	決 算 額	比 較 增 減	附 記
第一款 上水道施設費	四一三、五三五 <sup>四</sup> 五八	二四六、七四四 <sup>四</sup> 二五	△一六六、七九一 <sup>四</sup> 三三	
第一項 工事費	三七〇、二三三〇〇	二三二、九二一 <sup>四</sup> 八六	△一三七、三一 <sup>四</sup> 一四	
第一目 水源地費	三三、九〇〇〇〇	二六、九三一 <sup>四</sup> 五六	△六、九六八 <sup>四</sup> 四四	
第二目 淨水場費	五八、四〇〇〇〇	一八、四〇〇 <sup>四</sup> 五六	△三九、九九九 <sup>四</sup> 四四	
第三目 給水場費	二〇、〇〇〇〇〇	三七一 <sup>四</sup> 七	△一九、九六二 <sup>四</sup> 八三	
第四目 配水管費	二一一、一五〇〇〇	一六四、六六三 <sup>四</sup> 六一	△四六、四八六 <sup>四</sup> 三九	
第五目 建築費	六、四四八 <sup>四</sup> 九〇	四、七〇二 <sup>四</sup> 九一	△一、七四五 <sup>四</sup> 九九	
第六目 電話費	三、二五〇〇〇	九〇二 <sup>四</sup> 六一	△二、三四七 <sup>四</sup> 三九	
第七目 檢査費	二、三〇〇〇〇	一、六六四 <sup>四</sup> 三三	△六三五 <sup>四</sup> 六七	
第八目 運搬費	一、九〇〇〇〇	六五八 <sup>四</sup> 八七	△一、二四一 <sup>四</sup> 一三	
第九目 測量及製圖費	一、五三三 <sup>四</sup> 一〇	八九一 <sup>四</sup> 七六	△六四一 <sup>四</sup> 三四	
第十目 器具機械費	一五、〇〇〇〇〇	二、二九四 <sup>四</sup> 八九	△一二、七〇五 <sup>四</sup> 一一	
第十一目 用地及補償費	一三、三五六〇〇	九、六三二 <sup>四</sup> 七三	△三、七二三 <sup>四</sup> 二七	
第十二目 雜工事費	二、九九五〇〇	二、一四〇 <sup>四</sup> 八六	△八五四 <sup>四</sup> 一四	
第二款 事務費	三六、八四三 <sup>四</sup> 五八	一三、八二二 <sup>四</sup> 三九	△二三、〇二一 <sup>四</sup> 一九	

第一目 給料	一九、一九五 <sup>四</sup> 五五	五、二五四 <sup>四</sup> 二四	△一三、九四一 <sup>四</sup> 三一
第二目 雜給	一三、五五五 <sup>四</sup> 三六	六、〇五六 <sup>四</sup> 〇四	△七、四九九 <sup>四</sup> 三二
第三目 需用費	四、〇九二 <sup>四</sup> 六七	二、五一二 <sup>四</sup> 一一	△一、五八〇 <sup>四</sup> 五六
第三項 豫備費	六、四五九〇〇		△六、四五九〇〇
第一目 豫備費	六、四五九〇〇		△六、四五九〇〇
第二款 水道經營費	七、四五八〇〇	一八八 <sup>四</sup> 四六	△七、二六九 <sup>四</sup> 五四
第一項 事務費	三、六四〇〇〇		△三、六四〇〇〇
第一目 給料	一、八九〇〇〇		△一、八九〇〇〇
第二目 雜給	八二六〇〇		△八二六〇〇
第三目 需用費	九二四〇〇		△九二四〇〇
第二項 作業費	三、三九〇〇〇		△三、三九〇〇〇
第一目 作業費	三、三九〇〇〇		△三、三九〇〇〇
第三項 修繕費	二〇〇〇〇		△二〇〇〇〇
第一目 修繕費	二〇〇〇〇		△二〇〇〇〇
第四項 雜費	二二八〇〇	一八八 <sup>四</sup> 四六	△三九五 <sup>四</sup> 四
第一目 雜費	二二八〇〇	一八八 <sup>四</sup> 四六	△三九五 <sup>四</sup> 四
第三款 公債費	一九、一六〇 <sup>四</sup> 九二	九、二六三 <sup>四</sup> 六七	△九、八九七 <sup>四</sup> 二五















銚子市上水道誌

昭和十三年度銚子市特別會計上水道費歳入歳出追加更正豫算

歳入

- 一金 貳拾七萬八千壹百四拾貳圓也
- 一金 五千參百八拾八圓也
- 歳入合計金貳拾八萬參千五百參拾圓也

歳入既定豫算高  
歳入追加豫算高

歳出

- 一金 貳拾七萬八千壹百四拾貳圓也
- 一金 五千參百八拾八圓也
- 歳出合計金貳拾八萬參千五百參拾圓也

歳出既定豫算高  
歳出追加豫算高

歳入

(更正ノ文字ヲ冠セザルモノハ追加トス)

△印ハ減

昭和十三年度銚子市特別會計上水道費歳入歳出追加更正豫算

歳入	合計	豫算		附記
		追加更正豫算額	既定豫算額	
一、雜收入	三,三六八	三,三六八	一,四六六	三,三六八
二、工費收入	四,三七五	四,三七五	—	四,三七五
三、不用品賣拂代	—	—	—	—
四、過剰戻入金	八二三	八二三	—	八二三
五、雜收入	—	—	—	—
合計	三,三六八	三,三六八	一,四六六	三,三六八

歳出

(更正ノ文字ヲ冠セザルモノハ追加トス)

△印ハ減

歳出	合計	豫算		附記
		追加更正豫算額	既定豫算額	
一、上水道敷設費	三,三六八	三,三六八	三,三六八	—
二、工事費	三,三六八	三,三六八	三,三六八	—
三、追加更正豫算額	—	—	—	—
四、配水管費	三,三六八	—	三,三六八	—
合計	三,三六八	—	三,三六八	—



銚子市上水道誌

昭和十三年度銚子市特別會計上水道費歳入歳出決算

歳入  
 一金 四拾參萬貳千七拾四圓拾九錢  
 歳入決算高

歳出  
 一金 四拾參萬壹千五百五拾圓參拾九錢  
 歳出決算高  
 翌年度繰越金

(△印ハ減)

科 目	豫 算 額	決 算 額	比 較 増 減	附 記
第一款 補助金	七〇〇〇〇	二、六〇〇	四、四〇〇	
第一項 國庫補助金	五〇〇〇〇		五〇〇〇	
第一目 國庫補助金	五〇〇〇〇		五〇〇〇	
第二項 縣補助金	六、五〇〇		三、九〇〇	
第一目 縣補助金	六、五〇〇		三、九〇〇	
第二款 使 用 料	三九、三七五	一七、二二五	二二、一五〇	
第一項 水道使用料	三九、三七五	一七、二二五	二二、一五〇	
第一目 水道使用料	三九、三七五	一七、二二五	二二、一五〇	

科 目	豫 算 額	決 算 額	比 較 増 減	附 記
第三款 繰 入 金	三三〇〇〇	三三〇〇〇		
第一項 繰 入 金	三三〇〇〇	三三〇〇〇		
第一目 一般市費	三三〇〇〇	三三〇〇〇		
第四款 雜 收 入	六、八二四	一〇、六二六	三、七九八	
第一項 雜 收 入	六、八二四	一〇、六二六	三、七九八	
第一目 預金利息	一、四三〇	四、四九九	三、〇六九	
第二目 工費收入	四、五七五	五、〇九一	五、一六六	
第三目 不用品賣拂代	五〇〇	一五八	一五三	
第四目 過拂戻入金	八一三	八一三	二四	
第五目 雜 入	一〇〇	一〇〇	九	
第五款 繰 越 金	一七一、三一〇	一七一、三〇九	一	
第一項 繰 越 金	一七一、三一〇	一七一、三〇九	一	
第一目 前年度繰越金	一七一、三一〇	一七一、三〇九	一	
第六款 市 債	二三〇、〇〇〇	二三〇、〇〇〇		
第一項 市 債	二三〇、〇〇〇	二三〇、〇〇〇		
第一目 市 債	二三〇、〇〇〇	二三〇、〇〇〇		

第六章 財 政



銚子市上水道誌

歲入合計

四五四,八三九〇四

四三二,〇七四一九△

二二,七六四八五

四〇四

歲出

科目	豫算額	決算額	比較増減	附記
第一款 上水道施設費	四〇二,一七九三三	四〇二,一七九三三		
第二項 工事費	三七一,一四八八三	三七一,一四八八三		
第一目 水源地費	四二,八三六一一	四二,八三六一一		
第二目 淨水場費	七九,七八一四〇	七九,七八一四〇		
第三目 給水場費	三九,六一七七〇	三九,六一七七〇		
第四目 配水管費	一九六,七三九八三	一九六,七三九八三		
第五目 建築費	一六〇〇〇	一六〇〇〇		
第六目 電話費	五三一四八	五三一四八		
第七目 検査費	四五九九五	四五九九五		
第八目 運搬費	一,二二〇二七	一,二二〇二七		
第九目 測量及製圖費	一五五五五	一五五五五		
第十目 器具機械費	八,〇二五八八	八,〇二五八八		

科目	豫算額	決算額	比較増減
第十一目 用地及補償費	一,五八二二七	一,五八二二七	
第十二目 雜工事費	三八三九	三八三九	
第二項 事務費	三一,〇三〇五〇	三一,〇三〇五〇	
第一目 給料	九,八二五八四	九,八二五八四	
第二目 雜給	一六,八七五〇八	一六,八七五〇八	
第三目 需用費	四,三二九五八	四,三二九五八	
第三項 豫備費			
第一目 豫備費			
第二款 水道經營費	一八,九二二〇〇	五,四九九九一△	一三,四二二〇九
第一項 事務費	一一,九三五〇〇	五四〇七〇△	一一,三九四三〇
第一目 給料	六,九〇〇〇〇		六,九〇〇〇〇
第二目 雜給	二,二一六〇〇	五一〇七〇△	一,七〇五三〇
第三目 需用費	二,八一九〇〇	三〇〇〇〇△	二,七八九〇〇
第二項 作業費	五,七八〇〇〇	四,七〇一九〇△	一,〇七八一〇
第一目 作業費	五,七八〇〇〇	四,七〇一九〇△	一,〇七八一〇
第三項 修繕費	五〇〇〇〇		五〇〇〇〇
第一目 修繕費	五〇〇〇〇		五〇〇〇〇

第六章 財政

政

四〇五



歳出合計	第四項 雑費		第一目 雑費		第三款 公債費		第一項 公債費		第二目 雑費	
	金額	割合	金額	割合	金額	割合	金額	割合	金額	割合
四五四、八三九〇四	七〇七〇〇	15.6%	七〇七〇〇	100%	三三、七三七七一	47.3%	三三、七三七七一	100%	三三、七三七七一	100%
	二五七三一	5.7%	二五七三一	36.3%	二二、八七一五	31.2%	二二、八七一五	68.1%	二二、八七一五	68.1%
	四四九六九	10.0%	四四九六九	64.0%	九、八六六五六	12.7%	九、八六六五六	29.1%	九、八六六五六	29.1%
	六〇六	0.1%	六〇六	0.9%	九、八六〇五〇	13.3%	九、八六〇五〇	29.1%	九、八六〇五〇	29.1%
	二二、二八八六五	4.9%	二二、二八八六五	31.4%	一三、九四	18.8%	一三、九四	41.3%	一三、九四	41.3%
	四三一、五五〇三九	91.7%	四三一、五五〇三九	583.3%	三三、八五七二一	75.3%	三三、八五七二一	100%	三三、八五七二一	100%

第四節 起債

本市上水道布設費六十五萬圓の起債に付ては財政計畫上慎重なる考慮を拂ひ、借入先及借入方法の適否は直ちに上水道經營上に及ぼす影響からざるものあるを以て政府の低利資金借入は言ふ迄もなく銀行、會社等凡ゆる折衝を重ねたる結果左表の通借入を了し本事業の極めて圓滿に遂行を期することを得たり。

水道布設費起債一覽表 (昭和十三年八月現在)

借入年月日	借入額	利率	借入先	償還年月日	償還方法	備考
昭和三、四、三〇	一七〇,〇〇〇 <sup>円</sup>	四分一厘	鴻池信託株式會社	昭和六、三、三三	五年据置 二十ヶ年賦	昭和十一年度借入金
昭和三、三、二八	三〇〇,〇〇〇	四分二厘	簡易保險局	昭和七、三、三三	五年据置 二十ヶ年賦	
昭和三、八、二二	三〇〇,〇〇〇	四分二厘	簡易保險局	昭和八、三、三三	五年据置 二十ヶ年賦	

右起債の経過は左の通である。

昭和十一年度

(イ) 金拾七萬圓(年利四分一厘)

銚床第二七〇號

昭和十二年三月三十日

千葉縣銚子市長 川村芳次

内務省地方局長

殿

債券發行承認ノ件

本市上水道布設費起債ニ付左ノ通債券發行致度候條御承認相成度此段及稟請候也

記

イ、起債ノ目的 銚子市上水道布設費

第六章 財政



口、發行總額 金拾七萬圓  
 ハ、發行價格 百圓ニ付百圓  
 ニ、利率 年四分壹厘  
 ホ、最終利廻 年四分一厘六毛  
 ヘ、發行手數料 百圓ニ付金八拾錢  
 ト、發行豫定日 昭和十二年四月十五日  
 チ、引受先 鴻池信託株式會社  
 リ、債券調製費及負擔關係 引受先鴻池信託株式會社負擔  
 ス、償還年限 据置ヲ通シ二十四年  
 地號外

以上

昭和十二年四月十五日

千葉縣 總務部長

銚子市長 殿

債券發行承認ノ件

疊ニ申請相成候標題ノ件客月三十一日附ヲ以テ内務省地方局長大藏省理財局長ヨリ承認セラレタル旨左記ノ通電  
 報ヲ以テ通知有之候條右ニ御了知相成度此段及通牒候也

記

貴縣銚子市三月三十日稟請債券發行ノ件本日承認セラレ

内務省地方局長  
大藏省理財局長

東證第三〇四五號

昭和十二年四月十三日

東京市麴町區丸ノ通一丁目六番地

(東京海上ビル新館一階)

鴻池信託株式會社東京支店

證 券 課

銚子市長川村芳次殿

一、貴市第一回上水道公債ニ關スル件

來ル四月二十日當社引受ニヨリ發行ノ貴市公債受渡ニ就テハ左記御了承ノ上宜敷御高配被下度此段得貴意候也

記

一、公債金壹拾七萬圓也ハ市金庫宛當日電信振込可致ニ付金庫取扱銀行名至急御回報願度  
 一、引受手數料金壹千參百六拾圓也ハ當日小切手ニテ御持參願度



- 一、公債證書ハ前日迄ニ印刷出來可致ニ付當日市長御印章捺捺願度
- 一、當日左記書類御持參願度
  - イ、起債議決書謄本 壹通
  - ロ、起債許可申請書(要項)謄本 壹通
  - ハ、起債許可書謄本 壹通
- 二、債券發行承認通知謄本 壹通
- ホ、收入役殿印鑑(市長殿證明アルモノ) 壹通
- ヘ、市債金領收證(收入役殿署名捺印ノコト) 壹通

以上

千葉縣銚子市第壹回上水道公債引受契約書

千葉縣銚子市  
鴻池信託株式會社

契約書

千葉縣銚子市(以下單ニ甲ト稱ス)ハ千葉縣銚子市第壹回上水道公債總額金壹拾七萬圓也ヲ發行シ鴻池信託株式會社(以下單ニ乙ト稱ス)ハ其總額ヲ引受クルニ付甲乙間ニ左記事項ヲ契約ス

第一條 本公債ノ發行條件ハ左ノ如シ

- 一、名 稱 千葉縣銚子市第壹回上水道公債
- 一、發行總額 額面壹拾七萬圓
- 一、利率 年四分壹厘
- 一、發行價格 額面壹百圓ニ付金壹百圓
- 一、券面種別 五千圓券、壹千圓券ノ貳種トシ無記名利札附トス
- 一、償還方法及期限 昭和十五年迄据置昭和十六年度ヨリ昭和參拾五年度迄ニ別紙年次表ノ通り抽籤ヲ以テ償還ス

但シ甲ノ都合ニ依リ何時ニテモ年限ヲ短縮シ又ハ一部若クハ全部ノ繰上償還ヲ爲スコトヲ得

一、利子支拂方法及時期 毎年九月末日及參月末日ノ貳回ニ其ノ日以前六箇月分ヲ利札引換ニ支拂フ

但シ公債募入ノ初期竝ニ償還ノ場合ニ於ケル一期未滿ノ利子ハ日割ヲ以テ之ヲ計算シ元金償還期日後ハ利子ヲ附セス

一、元利金支拂場所 市金庫及鴻池信託株式會社本支店トシ元利金支拂事務取扱ニ關シテハ甲乙間ニ於テ別ニ定ムル代理事務契約證書條項ニ據ルモノトス

一、發行豫定日 昭和拾貳年四月貳拾日

第二條 甲ハ本公債ノ引受手数料トシテ引受總額ニ對シ金壹千參百六拾圓也(額面壹百圓ニ付金八拾錢)ヲ拂込金



授受ト共ニ乙ニ支拂フモノトス

第三條 乙ハ本公債ノ拂込金額金壹拾七萬圓也ヲ公債發行當日公債ヲ引換ニ甲ニ支拂フモノトス

第四條 本公債ノ證券ハ乙ニ於テ調製シ之ニ要スル費用ハ總テ乙ノ負擔トス

第五條 本公債賣出ニ伴フ一切ノ權利義務ハ乙ニ屬スルモノトス

第六條 甲ハ本公債元利金支拂手數料トシテ其都度左記割合ノ金額ヲ乙ニ支拂フモノトス

一、元金償還ノ場合 其取扱券面金額ニ對スル千分ノ壹

一、利子支拂ノ場合 其取扱券面金額ニ對スル千分ノ貳

第七條 本引受契約ハ本公債發行ニ關スル主務省ノ承認ヲ得タル後效力ヲ發生スルモノトス  
右契約ノ證トシテ本證書貳通ヲ作製シ各自其ノ壹通ヲ保有スルモノトス

昭和十二年四月五日

千葉縣銚子市

銚子市長 川村芳次

鴻池信託株式會社

常務取締役 前田 忠

償還年次表

昭和十二年度	三九	月	据	置	同	二十四年度	三九	月	据	四、〇〇〇、〇〇〇
同 十三年度	三九	月	据	置	同	二十五年	三九	月	据	四、〇〇〇、〇〇〇
同 十四年度	三九	月	据	置	同	二十六年	三九	月	据	四、〇〇〇、〇〇〇
同 十五年度	三九	月	据	置	同	二十七年	三九	月	据	四、〇〇〇、〇〇〇
同 十六年度	三九	月	据	置	同	二十八年	三九	月	据	四、〇〇〇、〇〇〇
同 十七年度	三九	月	据	置	同	二十九	三九	月	据	四、〇〇〇、〇〇〇
同 十八年度	三九	月	据	置	同	三十年	三九	月	据	四、〇〇〇、〇〇〇
同 十九年度	三九	月	据	置	同	三十一年	三九	月	据	四、〇〇〇、〇〇〇
同 二十年度	三九	月	据	置	同	三十二年	三九	月	据	四、〇〇〇、〇〇〇
同 二十一年度	三九	月	据	置	同	三十三年	三九	月	据	四、〇〇〇、〇〇〇
同 二十二年度	三九	月	据	置	同	三十四	三九	月	据	四、〇〇〇、〇〇〇



銚子市上水道誌

四一四

同二十三年度 九月 三,〇〇〇,〇〇〇  
三月 四,〇〇〇,〇〇〇

同三十五年度 九月 六,〇〇〇,〇〇〇  
三月 五,〇〇〇,〇〇〇

計 一七〇,〇〇〇,〇〇〇

千葉縣銚子市第壹回上水道公債元利金支拂代理事務契約書

千葉縣銚子市

鴻池信託株式會社

代理事務契約書

千葉縣銚子市(以下甲ト稱ス)ト鴻池信託株式會社(以下乙ト稱ス)トノ間ニ昭和拾貳年四月貳拾日付甲ノ發行ニ係ル千葉縣銚子市第壹回上水道公債額面壹拾七萬圓也ニ對スル公債元利金支拂代理事務取扱ニ關シ左ノ事項ヲ契約ス

第一條 甲ハ甲ノ發行セル前記公債元利金ノ支拂事務ヲ乙ノ本支店ニ於テ取扱フベキコトヲ乙ニ委託シ乙ハ之ヲ承諾シタリ

第二條 甲ハ本代理事務取扱ニ必要ナル公債證書見本券其他ノ書類用紙ヲ乙ノ所要枚數ニ應ジ乙ニ交付スルモノトス

第三條 元利金支拂ノ際ハ乙ハ證券又ハ利札ノ眞偽ヲ調査シ其ノ相異ナキコトヲ認定シタル上證券又ハ利札ト引換ニ之ガ支拂ヲ爲スモノトス

第四條 元金ヲ償還スル場合ハ甲ハ償還金額、償還期日竝ニ抽籤償還ノ場合ニ於テハ當籤證券ノ記號番號其他支拂ニ必要ナル事項ヲ償還期日ノ二週間前迄ニ乙ニ通知シ且ツ公告スルモノトス

甲ニ於テ買入償還ヲ爲シタル場合ハ其金額及買入證券ノ記號番號ヲ遲滞ナク乙ニ通知スルモノトス

第五條 元金償還ノ際其證書ニ附屬スル支拂期未到ノ利札中欠缺セルモノアルトキハ其欠缺利札面金額ヲ元金ヨリ控除シ其ノ殘額ヲ支拂フモノトス

第六條 償還スベキ證券ニ付テハ償還期日後ノ利子ヲ附セザルモノトス

第七條 利子支拂ノ際ハ乙ハ之ニ對スル税金ヲ控除スルモノトス但税金ノ算出ハ利札壹枚毎ニ之ヲ爲シ壹錢未滿ノ端數ハ切捨ツルモノトス

第八條 税金ヲ免稅セラルベキ法人又公共團體ヨリ利子支拂ノ請求ヲ受ケタルトキハ之カ免除ヲ受クベキ證明書ヲ徵スルモノトス

第九條 除權判決ニ基キ又ハ證券ノ汚損ニヨリ代リ證券ヲ交付シタルトキハ甲ハ其旨直チニ乙ニ通知スルモノトス

第十條 本公債元利金支拂資金ハ支拂期日ノ前日迄ニ甲ヨリ乙ニ交付スルモノトス但シ當日若シ休業日ニ相當スルトキハ交付日ヲ繰上グルモノトス

前項支拂資金ニ對シテハ乙ハ利息ヲ附セザルモノトス

第十一條 支拂資金ニ不足ヲ生ジタルトキ又ハ不足ヲ生ズル見込アルトキハ乙ノ請求ニ依リ甲ハ遲滞ナク資金ノ送付ヲ爲スモノトス



第十二條 支拂資金ノ未着又ハ不足ノ場合ニ於テ乙ガ立替拂ヲ爲シタルトキハ該金額ニ對シテハ立替當日ヨリ返  
濟日迄ノ日數ニ應ジ日本銀行公定當座貸越利子歩合ニヨリ計算セル利息ヲ甲ヨリ乙ニ支拂フモノトス

第十三條 乙ニ於テ本公債元利金ヲ支拂ヒタルトキハ支拂濟ノ證券又ハ利札ニ消印ノ上支拂ヲ開始シタル日ヨリ  
一箇月間ニ取扱ヒタル分ヲ取纏メテ整理ヲ爲シ向期間經過後十日間以内ニ支拂基金受拂表、元利金支拂報告書、  
徴收税金ヲ添ヘ甲ニ交付スルモノトス

第十四條 甲ハ前條ノ報告書ヲ受ケタルトキハ乙ノ請求ニ依リ左ノ割合ヲ以テ取扱手数料ヲ乙ニ支拂フモノトス  
(イ)元金償還ノ場合ハ取扱公債券面金額ノ一千分の一  
(ロ)利息支拂ノ場合ハ取扱利札券面金額ノ一千分之二

第十五條 甲カ將來公債發行ニ際シ其拂込金トシテ本公債ノ代用ヲ認メタル場合乙カ其ノ代用拂込ノ取扱ヲ爲シ  
タルトキハ之ヲ元利金支拂ト看做シ代用價格ニ含ム元利金相當額ニ對シ夫々前條規定ノ手数料率ヲ適用スルモ  
ノトス

第十六條 元利金支拂資金殘額ハ乙ヨリ甲ニ返還シ資金返還後ニ於ケル元利金ノ支拂ハ甲ニ於テ之ヲ取扱フモノ  
トス

第十七條 本公債ノ最終償還日又ハ金額繰上償還日以後六箇月ヲ經過シタルトキハ未拂額ノ有無ヲ問ハズ本契約  
ハ終了シ乙ハ本代理事務ニ關スル殘務ヲ甲ニ引繼グモノトス  
第十八條 前各條ニ定メタル以外ノ事項ハ甲乙協議ノ上之ヲ定ムルモノトス

本契約書ニ通ラ作成シ甲乙代表者署名捺印ノ上、各一通宛ラ保有スルモノトス  
昭和十二年四月十五日

千葉縣 銚子市  
市長 川村 芳次  
鴻池信託株式會社  
常務取締役 前田 忠

償還年次表

年 度	償還元金	年 度	償還元金
昭和十二年度	三九 月 据 置	同 十七年度	三九 月 三、〇〇〇、〇〇〇
同 十三年度	三九 月 据 置	同 十八年度	三九 月 三、〇〇〇、〇〇〇
同 十四年度	三九 月 据 置	同 十九年度	三九 月 三、〇〇〇、〇〇〇
同 十五年度	三九 月 据 置	同 二十年度	三九 月 三、〇〇〇、〇〇〇
同 十六年度	三九 月 三、〇〇〇、〇〇〇	同 二十一年度	三九 月 四、〇〇〇、〇〇〇



銚子市上水道誌

同二十二年	同二十三年	同二十四年	同二十五年	同二十六年	同二十七年	同二十八年	同二十九年	同三十年	同三十一	同三十二	同三十三	同三十四	同三十五年
三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
三、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇
同二十九	同三十	同三十一	同三十二	同三十三	同三十四	同三十五	同三十六	同三十七	同三十八	同三十九	同四十	同四十一	同四十二
三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇

一、千葉縣銚子市第一回上水道公債證書額面壹拾七萬圓也

證

內譯

五千圓券十六枚 自甲第一號至同第一六號  
 壹千圓券九十枚 自乙第一號至同第九〇號

昭和十二年九月三十日渡以降利札附

右正ニ受領仕候也

昭和十二年四月二十日

銚子市長 川村芳次殿

證

一、千葉縣銚子市第一回上水道公債證書見本券四枚

內譯

五千圓券 二枚  
 壹千圓券 二枚

右正ニ受領仕候也

昭和十二年四月二十日

銚子市長 川村芳次殿

第六章 財

政

鴻池信託株式會社東京支店

支店長 杉松參治

鴻池信託株式會社東京支店

支店長 杉松參治



銚子市上水道誌

銚席第三八三號

昭和十二年五月七日

四二〇

鴻池信託株式會社東京支店 御中

銚子市長 川村芳次

第一回上水道公債元金支拂代理事務委任ノ件

昭和十二年四月發行ノ本市第一回上水道公債ニ關スル代理事務契約書ニ依レバ元金償還ノ場合ハ其ノ都度御通知申上グルコト、相成居リ當方ニ於テモ努メテ之ヲ實行セン心組ニハ有之候得共償還公告及抽籤ノ儀ハ貴社ニ於テ取扱ハル、ヲ反ツテ好都合ト考ヘラレ候間甚ダ勝手乍ラ契約書ノ如何ニ拘ラズ右ニ要スル費用ハ當方ニ於テ負擔スルコト、シ自今元金償還公告及抽籤ノ儀ハ貴方ニ於テ專ラ取扱ハレ其ノ結果御通知相成様致度此段得貴意候也  
東證第三三九四號

昭和十二年六月十七日

東京市麴町區丸ノ内一丁目六番地

(東京海上ビル新館一階)

鴻池信託株式會社東京支店

證 券 課

銚子市長 川村芳次殿

一、第一回上水道公債元金支拂代理事務ノ件

掲題貴市債ノ元金償還公告及抽籤取扱自今當社へ御委任ノ儀去ル五月七日付銚席第三八三號ヲ以テ御申越相成候處右承諾仕候間此段及御回答候也

昭和十二年度

(ロ) 金貳拾五萬圓 (年利四分二厘)

銚席第七〇六號

簡易生命保險積立金借入申込書

- 一、金額 金貳拾五萬圓也
  - 二、目的 上水道布設費
  - 三、償還方法 五箇年据置二十箇年賦償還
  - 四、完済期限 昭和三十七年三月三十一日
  - 五、借入ノ主ナル事務所 千葉縣銚子市役所
  - 六、貸付金ノ受領時期 昭和十二年十一月
- 右借入申込候也

昭和十二年十月八日

第六章 財 政

四二一



逓信大臣 永井柳太郎殿

千葉縣銚子市長 川村芳次

添付書類目録

- 一、事業ノ計畫
- 二、事業ノ豫算
- 三、費用調達方法
- 四、債務償還資源
- 五、上水道特別會計十二年度ノ歳入歳出豫算ノ大要
- 六、起債議決書謄本
- 七、金貳拾五萬圓償還年次表(年利四分五厘)
- 八、起債ニ關シ監督官廳ノ許可書謄本
- 九、銚子市繼續費上水道施設費收支計算表
- 一〇、銚子市繼續費上水道經營費收支計算表
- 一一、据置期間ノ理由書
- 一二、稅賦課率調書
- 一三、昭和十一年度銚子市納稅成績表

- 一四、昭和十年度同
- 一五、昭和九年度同
- 一六、負債調書(一般會計)
- 一七、同 (特別會計)
- 一八、同 (基本財産繰入(積立)調書)
- 一九、基本財産調書
- 二〇、小學校基本財産調書
- 二一、水難救護資金調書

以上

右申込後簡易保險局貸付原資ノ都合上郵便年金積立金ヲ以テ申込ノ金額貸付致ス旨ノ内定通知アリ依テ昭和十二年十二月十七日右借入正式申込書ヲ提出セシニ保查第四九〇三號昭和十二年十二月二十二日附ヲ以テ簡易保險局長ヨリ正式通牒ニ接シ左記借用證書ヲ提出シ金貳拾五萬圓ノ借入ヲ爲セリ

郵便年金積立金借用證書

一金貳拾五萬圓也

前記ノ金額ヲ左ノ條項ニ從ヒ借受クヘキ契約ニテ本日正ニ受領致候

第一條 借入金ハ上水道建設費ニ使用スルモノトス



第二條 本債務ノ利息ハ年四分二厘トス

第三條 利息ハ每六ヶ月ヲ計算期間トシ月割計算ニ依ルモノトス但シ六ヶ月ニ滿タサル期間ニ對スル利息ハ其ノ期間ノ屬スル計算期間ノ現日數ヲ基礎トシ日割計算ニ依ルモノトス  
利息ノ計算ニ付テハ貸付當日ハ之ヲ算入セザルモノトス

第四條 借入金ハ昭和拾七年三月三十一日迄据置キ昭和十七年四月一日ヨリ同三十七年三月三十一日迄ニ元利金ヲ半年賦償還スヘシ

第五條 半年賦金ハ九千貳百九拾九圓九拾七錢ト定メ毎年左ノ期日ニ之ヲ辨済スヘシ  
九月三十日  
三月三十一日

第六條 据置期間中ノ利息ハ毎年左ノ期日ニ之ヲ辨済スヘシ

自四月一日分 九月三十日  
至九月三十日分  
自十月一日分 三月三十一日  
至三月三十一日分

第七條 元利金ハ總テ簡易保險局名義振替貯金口座東京八〇、〇〇〇番ニ對シ之ヲ拂込ムヘシ此ノ場合ニ於テ口座所管廳ガ簡易保險局名義振替貯金口座ニ對シ拂込金受人ノ手續ヲ了シタルトキハ借主カ郵便官署ニ現金拂込ヲ爲シタル日又ハ口座所管廳カ借主ノ請求ニ從ヒ振替口座ヨリ振替拂出ヲ爲シタル日ニ辨済ノ效力ヲ發生スル

モノトス

第八條 借入金ノ全部又ハ一部ヲ期限前ニ償還セムトスルトキハ償還セムトスル金額ノ百分ノ一ニ相當スル金額ヲ支拂フヘシ但シ豫メ期日ヲ定メ三ヶ月以前其ノ事由ヲ具シ簡易保險局ニ之ヲ通知シタルトキ又ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ付テハ之カ支拂ヲ要セサルモノトス

(イ)借入金ノ目的タル事業完成シ借入金ニ使用殘額ヲ生ジタルトキ  
(ロ)借入金ノ目的タル事業ノ全部又ハ一部ノ中止ニ依リ借入金ニ不用額ヲ生シタルトキ  
(ハ)借入金ノ使用ニ付貸付條件ニ適合セサルモノアリタル爲簡易保險局ヨリ期限前償還ノ請求ヲ受クルニ先チ之ヲ償還セムトスルトキ

第九條 借入金ノ一部ヲ期限前ニ償還シタル場合ニ於テ簡易保險局ヨリ半年賦金額更正ノ通知ヲ受ケタルトキハ爾後其ノ金額ヲ半年賦金トシテ拂込ムヘシ

第十條 元利金ノ辨済期日又ハ第十二條ニ依リ期限前償還ヲ請求セラレタル場合ニ於テ簡易保險局ノ指定シタル期日ニ元利金ノ辨済ヲナササルトキハ其ノ期日ノ翌日ヨリ辨済當日迄辨済スヘキ金額ニ對シ百圓ニ付一日金三錢ノ割合ニ當ル遲延利息ヲ支拂フヘシ

第十一條 簡易保險局其ノ他郵便官署ニ於テ借入金ノ用途又ハ借入金ヲ使用シタル事業ニ關シ調査ヲ爲サムトシ又ハ報告ヲ求ムルトキハ之ニ應スヘシ

第十二條 本契約ニ違反シタル場合ニ於テハ簡易保險局ノ請求ニ從ヒ期限前ト雖モ元利金ノ全部又ハ一部ヲ辨済



以上

昭和十二年十二月二十八日

債務者 千葉縣 銚子市

銚子市長 川村芳次

逓信大臣 永井柳太郎殿

昭和十三年度

(ハ) 金貳拾參萬圓 (年利四分二厘)

銚底第九一號

簡易生命保險積立金借入申込書

- 一、金額 金貳拾參萬圓
- 二、目的 上水道布設費ニ充ツル爲(三ヶ年繼續費第三年目)
- 三、償還方法 五ヶ年据置二十ヶ年ノ半年賦償還
- 四、完済期限 昭和三十八年三月三十一日
- 五、借主ノ主タル事務所 千葉縣銚子市役所
- 六、貸付金ノ受領時期 昭和十三年四月三十日

右借入申込候也

昭和十三年二月五日

千葉縣銚子市長 川村芳次

厚生大臣 侯爵 木戸幸一殿

添付書類目錄

- 一、事業ノ計畫
- 二、事業ノ豫算
- 三、費用調達方法
- 四、債務償還資源
- 五、昭和十三年度銚子市特別會計上水道費歳入歳出豫算ノ大要
- 六、最近年度ノ決算ノ大要
- 七、起債ニ關シ監督官廳ノ許可書謄本
- 八、起債決議書謄本
- 九、銚子市繼續上水道布設費收支計算表
- 一〇、自昭和十一年度至昭和十三年度銚子市上水道費(布設費ヲ除ク)繼續年期及支出方法
- 一一、銚子市繼續費上水道經營費收支計算表



一二、昭和十二年度繼續費遞次繰越計算書 特別會計

一三、金拾七萬圓償還年次表(年利四分五厘)

一五、金貳拾參萬圓同 (年利四分五厘)

一六、据置期間ノ理由書

一七、銚子市上水道費收支計算說明書

右申込後簡地第一七〇四號昭和十三年六月十六日附ヲ以テ簡易保險局貸付原資ノ都合上郵便年金積立金ヲ以テ申込ノ金額貸付致ス旨ノ内定通知アリ依テ昭和十三年六月二十二日右借入正式申込書ヲ提出セシニ地方課經由簡查第一三二七八號昭和十三年七月十五日附ヲ以テ保險院簡易保險局長ヨリ正式通牒ニ接シ左記借用證書ヲ提出シ金貳拾參萬圓ノ借入ヲ爲セリ

郵便年金積立金借用證書

一金貳拾參萬圓也

前記ノ金額ヲ左ノ條項ニ從ヒ借受クヘキ契約ニテ本日正ニ受領致候

第一條 借用金ハ上水道建設費ニ使用スルモノトス

第二條 本債務ノ利息ハ年四分二厘トス

第三條 利息ハ每六ヶ月ヲ計算期間トシ月割計算ニ依ルモノトス但シ六ヶ月ニ滿タサル期間ニ對スル利息ハ其ノ期間ノ屬スル計算期間ノ現日數ヲ基礎トシ日割計算ニ依ルモノトス

利息ノ計算ニ付テハ貸付當日ハ之ヲ算入セサルモノトス

第四條 借用金ハ昭和十八年三月三十一日迄据置キ昭和十八年四月一日ヨリ同三十八年三月三十一日迄ニ元利金ヲ半年賦償還スヘシ

第五條 半年賦金ハ八千五百五拾五圓九拾七錢ト定メ毎年左ノ期日ニ之ヲ辨済スヘシ

九月三十日

三月三十一日

第六條 据置期間中ノ利息ハ毎年左ノ期日ニ之ヲ辨済スヘシ

自四月 一日分 九月三十日

至九月三十日 自十月 一日分 三月三十一日

第七條 元利金ハ總テ簡易保險局名義振替貯金口座東京八〇、〇〇〇番ニ對シ之ヲ拂込ムヘシ此ノ場合ニ於テ口座所管廳カ保險院簡易保險局名義振替貯金口座ニ對シ拂込金受人ノ手續ヲ了シタルトキハ借主カ郵便官署ニ現金拂込ヲ爲シタル日又ハ口座所管廳カ借主ノ請求ニ從ヒ振替貯金口座ヨリ振替拂出ヲ爲シタル日ニ辨済ノ效力ヲ發生スルモノトス

第八條 借用金ノ全部又ハ一部ヲ期限前ニ償還セムトスルトキハ償還セムトスル金額ノ百分ノ一ニ相當スル金額ヲ支拂フヘシ但シ豫メ期日ヲ定メ三ヶ月以前其ノ事由ヲ具シ保險院簡易保險局ニ之ヲ通知シタルトキ又ハ左



ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ付テハ之カ支拂ヲ要セサルモノトス

(イ) 借入金ノ目的タル事業完成シ借入金ニ使用殘額ヲ生シタルトキ

(ロ) 借入金ノ目的タル事業ノ全部又ハ一部ノ中止ニ依リ借入金ニ不用額ヲ生シタルトキ

(ハ) 借入金ノ使用ニ付貸付條件ニ適合セサルモノアリタル爲保險院簡易保險局ヨリ期限前償還ノ請求ヲ受クルニ先チ之ヲ償還セムトスルトキ

第九條 借入金ノ一部ヲ期限前ニ償還シタル場合ニ於テ保險院簡易保險局ヨリ半年賦金額更正ノ通知ヲ受ケタルトキハ爾後其ノ金額ヲ半年賦金トシテ拂込ムヘシ

第十條 元利金ノ辨濟期日又ハ第十二條ニ依リ期限前償還ヲ請求セラレタル場合ニ於テ保險院簡易保險局ノ指定シタル期日ニ元利金ノ辨濟ヲ爲ササルトキハ其ノ期日ノ翌日ヨリ辨濟當日迄辨濟スヘキ金額ニ對シ百圓ニ付一日金參錢ノ割合ニ當ル遅延利息ヲ支拂フヘシ

第十一條 簡易保險局其ノ他郵便官署ニ於テ借入金ノ用途又ハ借入金ヲ使用シタル事業ニ關シ調査ヲ爲サムトシ又ハ報告ヲ求ムルトキハ之ニ應スヘシ

第十二條 本契約ニ違反シタル場合ニ於テハ保險院簡易保險局ノ請求ニ從ヒ期限前ト雖元利金ノ全部又ハ一部ヲ辨濟スヘシ

昭和十三年八月二日

以上

債務者 千葉縣銚子市

銚子市長 川村芳次

厚生大臣 侯爵 木戸幸一殿

銚子市水道公債償還年次表

償還年度	償還元金	利子	計
昭和十二年度		九、二五〇四八	九、二五〇四八
昭和十三年度		二三、八五七二一	二三、八五七二一
昭和十四年度		二七、一三〇〇〇	二七、一三〇〇〇
昭和十五年度		二七、一三〇〇〇	二七、一三〇〇〇
昭和十六年度	六、〇〇〇〇〇	二七、〇六八五〇	三三、〇六八五〇
昭和十七年度	一四、一八四九九	二六、七三七四五	四〇、九二二四四
昭和十八年度	二二、〇六二五六	二六、〇六五八二	四八、一二八三八
昭和十九年度	二二、七四四二八	二五、一三八一〇	四七、八八二三八
昭和二十年度	二三、四五四九一	二四、一八一四七	四七、六三六三八
昭和二十一年度	二五、一九五七一	二三、一九四六七	四八、三九〇三八
昭和二十二年度	二五、九六七九七	二二、一三五四一	四八、一〇三三八
計			四三一



昭和三十七年度	昭和三十六年度	昭和三十五年年度	昭和三十四年度	昭和三十三年度	昭和三十二年度	昭和三十一年度	昭和三十年年度	昭和二十九年度	昭和二十八年度	昭和二十七年度	昭和二十六年度	昭和二十五年度	昭和二十四年度	昭和三十三年度	
六五〇,〇〇〇	一六,五八七	三三,九四二	四三,五六〇	四三,二三四	四一,九六三	四〇,七四三	三七,五七三	三六,四五〇	三四,三七三	三三,三四〇	三三,三四九	三〇,三九八	二九,四八六	二八,六一二	二六,七七三
四三二,四六一	五二四	一,七六九	三,四七九	五,二九七	七,〇六〇	八,七七二	一〇,三七三	一一,九〇五	一三,三七二	一四,七七四	一六,一五四	一七,四五三	一八,六九三	一九,八九六	二一,〇四三
一,〇八二,四六一	一七,一一九	三五,七一八	四七,〇三九	四八,五三一	四九,〇二二	四九,五一五	四七,九四六	四八,三五六	四七,七四五	四八,一一四	四九,五〇四	四七,八五二	四八,一八〇	四八,五〇八	四七,八一六
計															計

公債償還年次表 (元金 拾七萬圓、年利四分壹厘)

昭和三十二年度	昭和三十三年度	昭和三十四年度	昭和三十五年年度	昭和三十六年度	昭和三十七年度	昭和三十八年度	昭和三十九年度	昭和二十年年度	昭和二十一年年度	昭和二十二年年度	昭和二十三年年度	昭和二十四年度	昭和二十五年度
六,五九六	六,九七〇	六,九七〇	六,九七〇	六,九〇八	六,六六二	六,四一六	六,一七〇	五,九二四	五,六七八	五,三九一	五,一〇四	四,七九七	四,四六九
六,五九六	六,九七〇	六,九七〇	六,九七〇	六,九〇八	六,六六二	六,四一六	六,一七〇	五,九二四	五,六七八	五,三九一	五,一〇四	四,七九七	四,四六九
四三三	四三三	四三三	四三三	四三三	四三三	四三三	四三三	四三三	四三三	四三三	四三三	四三三	四三三
計													計







昭和三十六年度	昭和三十五年度	昭和三十四年度	昭和三十三年度	昭和三十二年度	昭和三十一年度	昭和三十年度	昭和二十九年度	昭和二十八年度	昭和二十七年度	昭和二十六年度	昭和二十五年度	昭和二十四年度	昭和二十三年度	昭和二十二年度	昭和二十一年度	昭和二十年度
一五、九一二三〇	一五、二六四四五	一四、六四二九九	一四、〇四六八三	一三、四七四九四	一二、九二六三三	一二、四〇〇〇七	一一、八九五二二	一一、四一〇九三	一〇、九四六三五	一〇、五〇〇六九	一〇、〇七三一七	九、六六三〇七	九、二六九六六	八、八九二二六	八、五三〇二二	八、一八二九三
一、一九九六四	一、八四七四九	二、四六八九五	三、〇六五一	三、六三七〇〇	四、一八五六一	四、七一一八七	五、二一六七二	五、七〇一〇一	六、一六五五九	六、六一二二五	七、〇三八七七	七、四四八八七	七、八四二二八	八、二一九六八	八、五八一七二	八、九二九〇一
一七、一一一九四	一七、一一一九四	一七、一一一九四	一七、一一一九四	一七、一一一九四	一七、一一一九四	一七、一一一九四	一七、一一一九四	一七、一一一九四	一七、一一一九四	一七、一一一九四	一七、一一一九四	一七、一一一九四	一七、一一一九四	一七、一一一九四	一七、一一一九四	一七、一一一九四

公債償還年次表 (貳拾參萬圓年利四分貳厘)

昭和三十六年度	昭和三十五年度	昭和三十四年度	昭和三十三年度	昭和三十三年度	昭和三十一年度	昭和三十年度	昭和二十九年度	昭和二十八年度	昭和二十七年度	昭和二十六年度	昭和二十五年度	昭和二十四年度	昭和二十三年度	昭和二十二年度	昭和二十一年度	昭和二十年度
二五〇、〇〇〇〇〇	一八、〇三〇〇三	一七、二九五九六	一六、五九一八〇	一五、九一六二九	一五、二六八二九											
一六六、六五二六四	五六九九一	一、三〇三九八	二、〇〇八一四	二、六八三六五	三、三三一六五											
四一六、六五二六四	一八、五九九九四	一八、五九九九四	一八、五九九九四	一八、五九九九四	一八、五九九九四											



銚子市上水道誌

昭和 三十七 年度 計	一六、五八七六二	五二四三二	一七、一一一九四
	二三〇、〇〇〇〇〇	一五七、二六六〇一	三八七、二六六〇一

四三八

# 第七章 起工式及竣工式

## 第一節 起工式

本市上水道布設工事起工式は昭和十二年十二月二十四日市内本城町浮水場敷地に於て關係當局並に縣會議員市會議員市内各官衙代表者其他多數參列を得て極めて盛大に舉行したり。

銚子市水道布設工事起工式次第（昭和十二年十二月廿四日午前十一時）

- 一同着席
- 次 開式ノ辭
- 次 修 禱
- 次 降 神
- 次 獻 饌
- 次 齊 主 祝 詞
- 次 切 麻 行 事

第七章 起工式及竣工式



銚子市上水道誌

三〇

次 起 工 行 事 ( 歛 入 行 事 )

次 玉 串 奉 奠

次 昇 神

次 撤 饌

次 市 長 式 辭

次 告 辭

次 祝 辭

次 閉 式 ノ 辭

以上

右終つて西小學校講堂に於て祝宴を催せり

上水道布設工事起工式臨場申請

本市上水道布設工事起工式本月廿四日午前十一時當市本城町浄水場敷地に於て舉行可致候に付政務御多端の折柄恐縮の至りに存候得共御臨場の上御告辭を賜り度此段及申請候也

昭和十二年十二月二十日

銚子市長 川村芳次

内務大臣 殿  
千葉縣知事 殿

招 待 状

本市上水道布設工事起工式本月廿四日午前十一時當市本城町浄水場敷地に於て舉行可致候に付政務御多端の折柄恐縮の至りに存候得共御獎勵の爲御祝辭を賜はり候はゞ誠に光榮の至りに存候右御依頼申上候 敬具

昭和十二年十二月二十日

銚子市長 川村芳次

殿

招 待 状

拜啓益々御多祥の段奉慶賀候  
陳者兼て格別の御高配を蒙り候本市上水道布設工事は以御蔭着々進捗致居候に就ては來る本月二十四日午前十一時市内本城町浄水場敷地内に於て時局柄極めて嚴肅簡單に之が起工式を舉行可致候間萬障御差繰の上御貴臨の榮を賜り度右御案内申上候 敬具

追て乍御手数當日御出席の有無同封の葉書にて御一報相煩し度申添候

昭和十二年十二月二十日

銚子市長 川村芳次

殿

式 辭

第七章 起工式及竣工式



本日本市上水道起工式ヲ舉クルニ當リ多數貴賓ノ來臨ヲ辱ウセルハ本市ノ洵ニ光榮トスル所ナリ

惟フニ都市カ一國産業經濟文化ノ中心タル以上凡ユル方面ニ涉リ之カ向上發展ヲ期セサルヘカラサルヤ謂フ俟タス就中上水道ノ設備ハ市民ノ保健衛生及火災防止上將又産業進展上缺クヘカラサル必須要件ニシテ實ニ都市發展ノ根幹タリト謂フモ過言ニアラサルヘシ今ヤ本市ハ産業都市トシテ樞要ノ地位ヲ占メ生産額著シク膨脹シ年ト共ニ隆昌ニ向ヒツ、アリ殊ニ近ク竣功ヲ告ケントスル銚子築港工事ノ完成ヲ目睫ノ間ニ控ヘ更ニ一段ノ飛躍ヲ見ントスル機ニ際シ眞ニ本市將來ノ發展ヲ期セントセハ先以テ上水道ノ布設ヨリ急ナルハナシ

本市ハ曩ニ斷乎上水道布設ノ議ヲ決シ爾來工事施行認可事業起債許可等諸般ノ手續ヲ完了シ次テ物價昂騰、鐵飢饉、資金融通調整法ノ發動等各種ノ難艱ニ遭遇シタルモ何レモ能ク之ヲ突破スルノ見透シツキ本日起工式ヲ舉行スルニ至レルハ寔ニ慶祝ニ堪ヘサルナリ然レ共之カ本市百年ノ大計ヲ盡スヘキ大事業ヲ實施スルニ當リテハ今後幾多ノ困難ニ直面スルヲ覺悟セサルヘカラス

工事關係者ハ慎重ナル注意ヲ以テ協力一致精勵事ニ當リ萬違算ナキヲ期スヘキハ勿論ナルモ幸ニ來賓各位ニ於カレテハ更ニ一層御懇篤ナル指導ト厚キ援助トヲ賜リ本工所有終ノ美ヲ收ムルコトニ最善ノ誠ヲ致サントス一言述ヘテ式辭トス

昭和十二年十二月二十四日

銚子市長 川村芳次

告 辭

本日ヲトシ銚子市上水道布設工事起工ノ式典ヲ舉ゲラルルハ余ノ最モ欣幸トスル所ナリ

抑々銚子市ハ我國太平洋岸ニ於ケル要津ナルノミナラズ風光明媚ヲ以テ廣ク其ノ名ヲ知ラルル然ルニ此ノ地元來良水ニ乏シク粗惡ナル井水ヲ以テ纔ニ市民ノ飲用ヲ充タスニ過ギズ其ノ衛生ニ悖リ健康ヲ害シ全市ノ發達ヲ阻碍スルモノ蓋シ尠カラザルベシ此故ニ上水道ヲ布設シ飲用水ノ改良ヲ計ルハ勿論防火上ノ施設ヲモ計ルハ刻下ノ急務ナリト信ズ

本市先覺者ノ之ヲ憂フルヤ久シト雖モ市財政ハ之レガ布設ヲ許サザリシモ今回機運漸ク熟シ萬難ヲ排シテ工費六十五萬圓ヲ以テ上水道布設ノ企畫成ル依ツテ特ニ縣費補助ヲ爲シ之ガ遂行ヲ助ケ茲ニ起工ヲ見ルニ至レルハ眞ニ慶賀ニ堪ヘサル所ナリ

願フニ其ノ經費ハ巨額ニ上リ一見市民ノ負擔甚ダ輕カラザルガ如キモ之ガ竣工ノ曉ハ市民ハ肆ニ淨水ヲ飲用シ不時ノ火災ニ際シ其ノ慘害ヲ最小限度ニ防止シ得ルノミナラズ觀光客ハ踵ヲ接シテ來往シ頓ニ本市ノ繁榮ヲ増スニ至ルベシ

本日起工ノ式典ヲ舉グルト雖モ竣工ノ期ハ尙遼遠ナルヲ以テ當時者拮据勉勵全力ヲ致シ一日モ速ニ事業ヲ竣成セシメ以テ市民ノ幸福ヲ増進セラレンコトヲ望ム

昭和十二年十二月二十四日

千葉縣知事 多久安信

祝 電

第七章 起工式及竣工式



水道布設ノ起工ヲ祝ス

内務省衛生局長

祝電

本日ヲトシ上水道布設工事ノ起工式ヲ舉行セラル保健衛生産業上洵ニ慶賀ニ堪ヘス謹ミテ祝ス今後市民諸君ノ協力ト當局ノ碎勵トニ依リ着々其工ヲ進メ以テ有終ノ美ヲ收メラレシコトヲ

都市研究會長

内務大臣 末次信正

祝辭

本日茲ニ銚子市上水道布設工事起工ノ式典ヲ舉ケラル、ニ當リ一言祝辭ヲ呈スルハ上下水道ノ普及發達ヲ使命トスル本會ノ最モ欣幸トスル所ナリ

惟フニ都市文化ノ施設タル一ニシテ足ラスト雖モ清淨ニシテ豐富ナル水ヲ經濟的ニ供給スルヲ目的トスル上水道ノ布設ハ都市住民ノ保健衛生上災害防止上將又産業興隆上必須不可缺ノ根幹的要素ニシテ此ノ施設ヲ缺カンカ百般ノ都市施設完備スト雖モ猶龍ヲ畫イテ晴ヲ點セサルニ幾シト言フヘシ  
太平洋ノ尖端ニ位置シ大利根ノ河口ヲ扼シ房總ノ要津トシテ今ヤ隆々ノ發展ヲ顯示セラレツ、アル銚子市ニ於テ從來此ノ如キ須要施設ヲ缺キタルハ頗ル遺憾トスル所タリシニ今ヤ多年ノ宿望タル上水道事業計畫ヲ確立セラレ都市施設ノ根幹ニ培フニ至レルハ洵ニ欣快ノ至リニシテ今後市勢ノ發展期シテ俟ツヘク市民各位ノ幸慶何物カ之

ニ如カン

一言蕪辭ヲ述ヘテ祝辭トナス

昭和十二年十二月二十四日

水道協會長

東京市長 小橋一太

祝電

本日茲ニ上水道布設工事ノ起工式ヲ舉行セラレ以テ保健衛生施設ノ完璧ヲ期セラレントス洵ニ慶賀ノ至リニ堪ヘズ

全國市長會長

祝電

御盛典ヲ祝ス

關東市長會長

祝辭

銚子市上水道布設ノ企劃成リ本日茲ニ起工式ヲ舉クルニ當リ祝詞ヲ述フルヲ得ルハ最モ光榮トスル所ナリ  
惟フニ都市生活ニ必要ナル施設中市民ノ保健衛生上極メテ緊要ナルモノハ上水道ノ設備ナルコト言ヲ俟タス本市ハ夙ニ之レカ布設ヲ企圖シ前後數年ニ涉リテ調査研究ヲ爲シタルモ時到ラス議熟セス荏苒時ヲ遷セリ然ルニ時運ノ推移ニ伴ヒ市民齊シク其實現ヲ要望シ本市會又昨年八月豫算六拾五萬圓ヲ決議シ以テ之カ事業ヲ遂行セントス



幸ニ當局ノ熱誠ト關係諸彦ノ多大ナル同情援護ニヨリ今日アルヲ致シタルハ洵ニ市民ノ欣賀ニ堪ヘサル所ナリ而シテ本工事ノ進捗ニ關シテハ今後一層當局精勵市民ノ協力ハ勿論官民諸彦ノ深甚ナル援助指導ニ依ラサルヘカラス

希クハ克ク千難萬障ヲ排シテ施工經理ヲ謬ラス順調ニ所期ノ目的達成ニ邁進セラレンコトヲ一言述ヘテ祝辭トス

昭和十二年十二月二十四日

銚子市會議長

大里庄治郎

祝辭

銚子市上水道起工ノ盛典ニ列スルノ光榮ニ浴シマシタコトハ洵ニ喜ビトスル所デアリマス由來上水道ノ敷設ハ近代都市構成ノ一大要件トモ申スベク市民ノ保健衛生上看過スベカラザルハ勿論消防上カラ見マシテモ重要ナル施設ノ一ツデアリマス、然ルニ銚子市ハ市制施行以來産業都市トシテ躍進的發展ヲ來シ各種事業ノ發達ト共ニ人口モ亦著シキ増加ヲ見ツ、アルノミナラズ殊ニ市内ノ飲料水ノ水質惡シク飲料ニ適セザルモノ極メテ多イ現狀デアリマシテ上水道ノ必要ヲ痛感セラレテ居ツタノデアリマスガ市當局ニ於カレマシテモ早クカラ茲ニ着眼セラレマシテ綿密ナル調査ト周到ナル計畫ノ下ニ凡ユル障害ヲ排除シテ之ガ實現ニ努メラレマシタ結果市會ニ於カレマシテモ亦絶大ナル協賛ヲ與ヘ全市民期待ノ下ニ愈々起工ノ運ビニ至リマシタコトハ衷心ヨリ慶

賀ニ堪ヘナイトコロデアリマス

本工事ノ完成ニ因リ市民ノ受クル直接間接ノ便益ハ蓋シ圖リ知ルベカラザルモノガアルコト、信ジマス希クハ工事ノ圓滿ナル進捗ニ依リ一日モ早ク給水ノ運ビニ至ランコトヲ御祈リ申シマシテ祝辭ト致シマス

昭和十二年十二月二十四日

銚子警察署長

地方警視 山口忠藏

祝辭

銚子市ハ過クル昭和八年市制施行セラレテヨリ五年今ヤ人口六萬ヲ算シ本縣下ニ於ケル一大産業都市トシテ諸般ノ施設ト相俟テ目覺シキ發展ヲ爲シツ、アリ然ルニ未ダ水道ノ施設ナカリシタメ是ガ産業上ニ及ボス影響ハ勿論市民ハ多年ニ互リテ水ノ不足ヲ嘆キ或ハ惡水ヲ使用スル等保健衛生ノ上ヨリ見ルモ寔ニ遺憾ナル實情ニアリタルニ市當局ハ夙ニ上水道ノ必要ヲ提唱シテ是カ施設ヲ企畫セラレ今日茲ニ盛大ナル起工ノ式典ヲ舉行セラル、ニ至リタルハ洵ニ慶賀ニ堪ヘサル所ナリ

思フニ水道工事ノ完成ハ各種産業ノ施設竝ニ一般市民ノ上ニ直接ニ甚大ナル福利ヲ齎ラスモノナルヤ言フ俟タズ特ニ銚子漁港ノ背後施設トシテ亦極テ緊要ナル施設ニ屬スルモノニシテ今後工事ノ進捗ニ伴ヒ銚子市ハ更ニ面目ヲ改メ益々發展繁榮ノ加ハラムコトヲ衷心ヨリ祝福シ多大ノ希望ヲ以テ本工事ノ完成ヲ祈ルト共ニ併セテ市當局竝ニ各關係者ノ熱誠ナル努力ニ對シ聊カ感謝ノ意ヲ表スルモノナリ一言所感ヲ述ベテ祝辭トナス



昭和十二年十二月廿四日

銚子漁港修築事務所長

正六位 平井新六

祝辭

茲ニ銚子市上水道起工式ノ舉行セラル、ニ當リ不肖其末席ニ列スルノ光榮ニ浴シタルハ最モ欣幸トスル所ナリ  
惟フニ銚子市ハ逐年著シキ發展ヲナシ市勢益々殷盛ヲ加フサレバ本市ノ隆興ト時代ノ進展ニ伴ヒ今後施設經營ノ  
急ヲ要スルモノ尠カラザルベシ然リト雖本市ノ地勢ト現下ノ實情ヲ察スルニ清澄純潔ナル用水ノ供給ヲ潤澤ナラ  
シメ衛生施設ノ完備ト相俟テ商工業ノ發達ヲ圖ルノ最急務ナルヲ感ゼスンハアラス

本市夙ニ茲ニ見ル所アリ曩ニ水道布設ノ議ヲ決シ爾後銳意諸般ノ調査ヲ了シ今茲ニ其ノ工ヲ起サントス洵ニ機宜  
ノ施設ニシテ衷心欣慶ニ堪ヘサルナリ之市民ノ熱誠ト當事者ノ計劃宜シキヲ得タル結果ニシテ本工事竣功ノ曉ハ  
當ニ需要者ノ利便大ナルノミナラス産業進展上享クル利益又甚大ニシテ本市ノ面目ヲ一新スルニ至ルヘシ  
冀クハ益々和衷協力以テ本事業ノ完成ニ邁進セラレンコトヲ一言蕪辭ヲ述ヘテ祝辭トス

昭和十二年十二月二十四日

銚子商工會議所會頭

大里庄治郎

第二節 竣功式

本市上水道布設工事は昭和十二年十二月二十四日起工式舉行以來關係當局竝に市民の熱誠なる援助に依り時局  
の影響に依る物資入手難に直面せるにも拘らず極めて順調に進捗し昭和十四年三月を以て全く工事の竣成を告げ  
昭和十四年四月十一日市内本城町淨水場に於て水神宮鎮座祭竣功の式典を舉行せり。

水神宮鎮座祭  
上水道布設工事竣功式

次第

(昭和十四年四月十一日午前十時)

- 一同着席
- 次 學式ノ挨拶
- 次 修 祓
- 次 清 祓
- 次 御靈代奉安
- 次 獻 饌
- 次 齋 主 祝 詞
- 次 玉 串 奉 奠

第七章 起工式及竣功式



- 次 撤 饌
- 次 閉 扉
- 次 式 辭
- 次 工 事 奉 告
- 次 告 辭
- 次 祝 辭
- 次 閉 式 ノ 換 抄

右終つて浄水場に於て祝宴を催せり。

以上

招待状

拜啓 陽春の初益々御多祥の段奉慶賀候  
 陳者今般本市上水道布設工事完成致し候に就ては來る四月十一日午前十時(於市内本城町浄水場)竣工式舉行可仕  
 候間萬障御差繰の上御貴臨の榮を賜り度右御案内申上候

昭和十四年四月五日

敬具

銚子市長 川村芳次

殿

式 辭

本日茲ニ本市上水道布設工事竣工ノ式典ヲ舉行スルニ當リ貴賓各位ノ御臨席ヲ辱フシタルハ本市ノ深ク光榮トス  
 ル所ナリ抑々本市ハ昭和八年市制施行以來日未ダ淺キニ拘ハラズ諸般ノ施設順調ニ進ミ上水道布設ノ如キモ都市  
 事業中最大ノモノト謂ハル、ニ拘ハラズ市民ノ保健火災ノ防止産業ノ開發等ノ見地ヨリ極メテ緊要ナリトシ昭和  
 十年六月水道調査臨時委員ヲ設ケ鋭意調査研究ヲ遂ゲラレ幾多經緯ヲ經漸ク具體案ヲ得特ニ特別會計ト爲シ總工  
 費六十五萬圓ヲ以テ三ヶ年繼續事業ニテ實施スルコトシ昭和十一年八月市會ニ於テ正式議決ヲ見タリ其ノ後起  
 債及布設ノ申請等ニ付諸般ノ手續ヲ進メ同年度中ニ全部許可認可ノ指令ヲ受ケ次イデ其ノ起工ヲ見ルニ至レリ爾  
 來水源地ノ選定用地ノ買収等全面的ニ工事施行ニ着手セルガ時偶々事變ニ際會シ資材ノ購入資金ノ調達等幾多ノ  
 困難ニ逢着セシモ能ク之ヲ突破シ工事ハ豫期以上ノ進捗ヲ見第一期ニ於テ既ニ三千二百餘戸ノ給水取付ヲ了シ又  
 政府ニ於テハ事變ノ爲一旦打切リヲ爲シタル布設工事ノ國庫補助金ノ如キモ昭和十四年度ヨリ復活セラル、コト  
 、爲リタル等極メテ順調ニ進ミ今日之ガ竣工ノ式典ヲ舉クルニ至リタルハ洵ニ同慶ニ堪ヘサル所ナリ是レ全ク監  
 督官廳ノ指導ト市會議員諸君並ニ臨席各位ノ熱誠ナル協力援助ノ賜ニ外ナラズ茲ニ深甚ナル感謝ノ意ヲ表スル次  
 第ナリ

惟フニ本市ハ水道布設ノ完成ヲ契機トシテ文化都市トシテノ面目ヲ一新シ將來衛生及防火上ハ勿論産業進展ノ上  
 ニ一大福祉ヲ招來スルコトヲ確信シテ疑ハズ今後更ニ其ノ利用ヲ増大シ市民ノ協力一致本市永遠ノ發展ニ寄與貢  
 獻セラレントヲ切望シテ止マサルナリ一言以テ式辭トス

第七章 起工式及竣工式



昭和十四年四月十一日

工事報告

銚子市長 川村芳次

本市上水道竣工式ヲ舉行スルニ當リ工事概要ヲ報告スルノ光榮ヲ得タルハ最モ欣幸トスル所ナリ  
 本工事ハ市内長塚町地内ニ鑿井ヲ鑿設シ地下水ヲ取水シ本城町ニ構築セル淨水場内急速濾過地ニ揚水シ曝氣濾過  
 ノ淨化作業ヲ加ヘ淨水ト爲シ淨水池ニ導キ更ニ送水唧筒ヲ以テ配水池ニ揚送シ市内一圓ニ給水スルモノナリ  
 鑿井ハ内徑三百耗深度百十米四ヶ所ニシテ各二十五馬力ノ取水唧筒ヲ設備ス淨水場ハ曝氣室濾過槽、淨水池並唧  
 筒室ヨリ成リ濾過槽ハ開放重力式ニシテ四池ヲ有シ一池ノ長サ四米幅三米三濾過速度一日百二十米三池ニテ給水  
 人口三萬人ニ對スル所要量ヲ濾過ス淨水池ハ内法九米方形水深二米五貯水量二百立方米トス送水唧筒ハ三十馬力  
 電動機直結タービン唧筒三臺ニシテ豫備機關トシテ四十馬力デーゼル一臺ヲ設備ス配水池ハ圓形ニシテ内徑十五  
 米、水深八米、千四百立方米ノ貯水量ヲ有ス導水管、送水管並配水管ノ總延長ハ五〇、八八〇米、其ノ内徑最大  
 四百耗最小七五耗ニシテ高級鑄鐵管及エタニツト管ヲ使用セリ本工事費總額ハ六十五萬圓ニシテ起工以來物價ノ  
 昂騰並ニ物資ノ統制ニ際會シタルモ工事ハ豫期以上ニ進捗シ今日ノ竣工ヲ見ルニ至リタルハ臨席各位ノ絶大ナル  
 御援助ノ結果ニシテ茲ニ工事ノ概要ヲ報告スルニ當リ深甚ナル謝意ヲ表ス  
 右謹ミテ報告ス

昭和十四年四月十一日

銚子市水道課長 鈴木三郎

祝 辭

惟フニ水道ハ市民ノ保健衛生保安産業ニ甚大ノ關係ヲ有スルヲ以テ速ニ其ノ完備ヲ圖ラサルヘカラルナリ特ニ  
 現下時局ノ重大ナルニ鑑ミ其ノ必要ヲ感スルコト愈々切ナルモノアリ此ノ時ニ當リ銚子市ハ水道ノ新設ヲ計畫シ  
 今ヤ工事成リテ本日茲ニ竣工式ヲ舉行セラル寔ニ慶賀ニ堪ヘサルナリ冀クハ將來之カ管理ト維持トニ最善ヲ盡  
 シ永ク其ノ福利ヲ收メラレムコトヲ一言以テ祝辭トス

昭和十四年四月十一日

厚生大臣 廣瀬久忠

告 辭

銚子市上水道敷設工ヲ竣ヘ本日ノ吉辰ヲトシ竣工式ヲ舉行セラル惟フニ都市施設中上水道ハ其ノ最モ重要ナルモ  
 ノニ屬シ國民ノ保健衛生上ハ勿論保安並ニ産業上ニ及ボス效果極メテ大ナルモノアリ本市茲ニ見ル所アリ曩ニ工  
 費六十五萬圓ヲ以テ之ガ敷設ヲ企畫シ今其ノ實現ヲ見ルニ至ル將來市民ノ受ラル利益蓋シ大ナルモノアルベク寔  
 ニ慶賀ニ堪ヘサルナリ、冀クハ爾今維持管理宜シキヲ得以テ長シヘニ效果ヲ收メラレンコトヲ一言述ヘテ告辭ト  
 ス

昭和十四年四月十一日

千葉縣知事 立田清辰



祝 辭

本日茲ニ銚子市上水道ノ功成リ竣工式ヲ舉行セラル洵ニ慶賀ニ堪ヘス  
 銚子市ハ房總ノ要衝ニ在リ近時海港都市トシテ顯著ナル發展ヲ遂ケ之ニ伴ヒ豫テヨリ水道ノ布設ヲ要望セラレツ  
 、アリシトコロ今回現下ノ非常時局ニ因ル幾多ノ困難ヲ克服シテ清冽豊富ナル上水ノ供給施設完備ヲ見ルニ至リ  
 タルハ市民諸彦ノ幸慶實ニ之ニ如クモノナク今後市勢ノ躍進期シテ待ツヘキモノアルヲ信ス  
 希クハ幸ニ適正ナル運営ニ係リ保健衛生ノ上ニ災害防止ノ上ニ將又産業振興ノ上ニ十分其ノ使命ヲ竭シ貢獻セラ  
 レンコトヲ一言蕪辭ヲ敘ヘテ祝辭トス

昭和十四年四月十一日

水道協會長

東京市長 小橋 一太

祝 辭

銚子市上水道布設工事完ク成リ本日ヲ以テ竣工式ヲ舉行セラル寔ニ欣幸トスル所ナリ  
 惟フニ水ハ吾人人類生活ノ上ニ須臾モ缺クベカラザルモノニシテ水ノ良否ガ人類保健上絶大ノ關係ヲ有スル固ヨ  
 リ言ヲ俟タザル所ナリ

吾ガ銚子ノ地タル夙ニ用水ノ不便ヲ感ジ市内ノ井水概ネ不良ナルヲ慚フルヤ久シ市當局爰ニ見ル所アリ曩ニ上水  
 道布設ヲ策シエヲ起シテ數閱月今ヤ完ク成リテ普ク全市ニ通水スルニ至ル其源泉ノ湧出スル所滾々トシテ流レテ

止マズ市内至ル所淨水ノ送ルヲ見ル之ヲ以テ市民ヲ用水ノ不便ヨリ免レシメ衛生上ニ將又火防上ニ幸ヒスル蓋シ  
 圖リ知ルベカラズ亦以テ市運ノ發展ニ寄與スル甚ダ大ナルベキヲ信ス  
 一言以テ祝辭トナス

昭和十四年四月十一日

貴族院議員 濱 口 儀 兵 衛

祝 辭

銚子市營上水道工事成リ本日茲ニ竣工ノ式典ヲ舉行セラルルニ當リ一言祝辭ヲ述ブルヲ得タルハ余ノ最モ欣幸ト  
 スル所ナリ  
 當市ハ夙ニ工業都市トシテ聞エル外東日本屈指ノ漁港トシテ既ニ名アリ又其ノ地勢其ノ他ノ關係ヨリ國防上ノ重  
 要地點タルコト言ヲ俟タズ曩ニ市制ヲ施行シ施設經營著々其ノ功ヲ收メツツアリト雖モ就中今回竣工ヲ見タル上  
 水道事業ノ如キ市民ノ保健衛生ニ寄與スルト共ニ市勢ノ進展ニ至大ノ貢獻ヲナスベキ劃期的事業タリ斯ノ如キ大  
 事業ガ極メテ短期間ニ而モ順調圓滑ナル進捗ヲ見タルハ市當局ノ極メテ練達セル手腕ト之ニ協力セル市民ノ愛市  
 ノ精神ニ基因スルモノト謂フベク當市ノ將來ノ爲洵ニ慶賀措ク能ハザル所ナリ  
 今ヤ時局重大ノ折柄冀クハ市民各位益々自重自愛相共ニ其ノ本分ヲ盡シ愈々市ノ充實發展ノ爲貢獻セラレ銃後自  
 治ノ完璧ヲ期セラレムコトヲ一言蕪辭ヲ述ベテ祝辭トス

昭和十四年四月十一日

第七章 起工式及竣工式



千葉縣會議長 星野 懿吉

祝 辭

銚子市上水道ノ工成リ茲ニ盛大ナル式典ヲ舉ゲラル、ニ際シ之ニ列スルノ機會ヲ與ヘラレタルハ私ノ最モ欣幸トスル所デアリマス

抑々上水道ノ敷設タルヤ一大文化的施設ナリト雖モ巨額ノ工費ヲ要スルガ爲其ノ實現至難ナルモノガ多イノデアリマス、然ルニ本市ハ市當局者ノ熱意ト市民各位ノ理解アル協力ト相俟ツテ多年ノ宿望タリシ市管上水道ノ竣工ヲ見本日此ノ式典ヲ舉グルノ運ビニ至リタルハ洵ニ慶賀ニ堪ヘナイ所デアリマス、今後之ガ發展利用ニヨリ市民ノ福利増進ハ勿論保健衛生上將タ又火災ノ防止等ニ貢獻シ市民ハ其ノ堵ニ安シ得ルノミナラズ産業就中本市ノ中心産業タル水産業ノ隆盛ニ資シ以テ大銚子躍進ニ基礎的的使命ヲ果サルモノト信ジテ疑ハザルトコロデアリマス

茲ニ愈々經營當局者ノ熱誠ト理解アル愛護善用ニ俟チ其ノ發展ト所期ノ效果ヲ舉ゲラルル様祈念シテ祝辭ト致シマス

昭和十四年四月十一日

銚子警察署長

地方警視 山口 忠藏

祝 辭

茲ニ銚子市上水道布設工事ノ完成ヲ看盛大ナル竣工式ヲ舉行セラル、ニ方不肖亦參列ノ榮ニ浴シタルハ深く感喜ニ堪ヘザル所ナリ

夫レ本市繁榮ノ基ハ産業文化ノ發達ニ俟ツモノ甚大ニシテ各種ノ施設之ニ伴ヒ興ルハ同時ニ必然ノ勢ナリ殊ニ本事業ノ完成ノ如キハ其ノ影響スル所極メテ廣ク衛生防火兩ツナガラ獨リ現在ニ止マラズ永遠ニ市民ノ上ニ無限ノ利福ヲ廣スハ論ヲ俟タザルナリ

如斯キ劃期的ナル事業ハ一朝ニシテ成ラズ其ノ間幾多ノ艱苦ヲ忍ビ之ガ完成ヲ目標トシテ一意専心或ハ戰時下ノ物資缺乏ト闘ヒツ、平時ニ於テシテモ至難ノ事業ヲ萬難ヲ排シテ拮据經營以テ豫定ノ工事ヲ竣リ本日竣工ノ式典ヲ舉行セラル、ノ盛運ニ會ス其ノ功勞ノ偉大ナルハ市民齊シク肝銘シテ永久ニ忘レサル所ナリ茲ニ謹ミテ滿腔ノ感謝ト敬意ヲ表シ一言以テ祝辭トナス

昭和十四年四月十一日

銚子商工會議所會頭 大里 庄治郎

祝 辭

本市多年ノ懸案タル上水道工事茲ニ完成ヲ告ケ本日ヲトシ其竣工式ヲ舉行セラル全市民ト共ニ歡喜祝福ニ堪ヘサル所ナリ抑モ上水道ノ布設ハ近代都市施設トシテ衛生、火防其他産業的見地ヨリ缺クヘカラサル要素タリ本市ハ多年之ヲ企圖シタリシモ機熟セス實現ノ機運ヲ得サリシカ昭和十一年八月市會ハ滿場一致ヲ以テ上水道ノ布設ヲ議決セリ而シテ其ノ工ヲ起シヤ當局ハ能ク機宜ニ從ヒテ經營運算ナク關係者又克ク之ヲ援助シ一氣呵成僅カニ一



年八ヶ月ノ短日月ヲ以テ竣功ノ域ニ進ミ既ニ滔々トシテ盡キサル清水ノ供給ヲ見タリ是偏ニ當局者及關係諸君ノ辛勞ノ結晶ニシテ其ノ勞苦ヤ想像ニ餘リアルモノト云フヘシ  
惟ニ本施設ニヨリ將來市民カ恒久ニ受クル利便ト幸福ハ蓋シ甚大ナルヘク延テハ市運ノ興隆ニ資スルコト鮮少ナラサルヲ信ス望ムラクハ自覺アル市民諸君ト共ニ濫用ヲ慎ミ節制ヲ守リ以テ永遠ニ其恩澤ニ浴センコトヲ本日竣功ノ盛典ニ列シ市會ヲ代表シテ一言述ヘテ祝辭トス

昭和十四年四月十一日

銚子市會副議長 青野慎助

祝 辭

櫻花將ニ酣ニ萬物コトゴトク生ヲ樂マムトスル好季節ニ當リ吾銚子市水道工事モ完了シ恰モ嚴寒ヲ凌ギ絢爛ト咲キ出ス花ノ如ク市長殿並ニ關係當事者各位ノ一方ナラヌ御努力ハココニ報ハレ竣工式舉行ニ際シ參列ノ光榮ニ浴スルハ誠ニ欣快ニ絶エヌ次第デアリマス今ヤ銚子市モ飛躍的發展ニ伴ヒ人口増加著シキ折保健衛生上上水道ノ完備ハ焦眉ノ急ナル事言ヲ待タズコレアルガ爲市民ノ健康ニ多大ノ貢獻ヲナシ傳染病ノ如キモ其ノ幾十割ヲ減少シ得ル事ヲ確信致シマス  
我等營業ニ従事スル者ノ喜ビハ一入深イノデアリマス聊カ意ヲ述ベ以テ祝辭ト致シマス

昭和十四年四月十一日

銚子市海上郡醫師會會長 齋藤武

祝 電

上水道布設工事工成リ盛典ヲ舉ゲル誠ニ喜ニ堪ヘズ

內務大臣 侯爵 木戸幸一

祝 電

上水道功成リ本日ヲ以テ其ノ式典ヲ舉ゲラル保健衛生産業及國土防衛上寔ニ慶賀ニ堪ヘズ謹ミテ祝ス

都市研究會長

內務大臣 侯爵 木戸幸一

祝 電

遙ニ本日ノ盛典ヲ祝シ益々市制ノ發展ヲ祈ル

商工政務次官 今井健彦

祝 電

御盛典ヲ祝ス

衆議院議員 吉植庄亮

祝 電

貴市上水道布設ノ功成リ本日其ノ竣工式ヲ舉ゲラル、ハ洵ニ慶賀ノ至リニ堪エズ  
才祝ヒ申上グ

第七章 起工式及竣工式



銚子市上水道誌

四六〇

祝電

上水道布設工事完成ヲ祝ス貴市ノ御發展ヲ祈ル

全國市長會長  
新潟市長 井上 英

關東市長會長

桐生市長 關口義慶二

祝電

水道工事竣功ヲ祝シ御發展ヲ祈ル

千葉市長 永井準一郎

祝電

水道工事ノ完成ヲ敬祝ス

船橋市長 後藤秀四郎

祝電

御盛儀ヲ祝ス

縣會議員 横田清藏

當日本市水道布設工事に關し特に功勞顯著であつた左記諸氏に感謝狀竝に銀杯一個を贈呈せり

淨水池竝に唧筒室建築工事請負人

岡田知之助

配水池築造工事請負人

田杭仙太郎

感謝狀

本市上水道配水池並に唧筒室建築工事ヲ請負ヒ精勵事ニ當リ偶々物價ノ昂騰ニ際會シタルニ克ク之ガ完成ニ努メ其ノ落成ヲ見ルニ至ル仍テ銀杯一個ヲ贈呈シ茲ニ深く感謝ノ意ヲ表ス

昭和十四年四月十一日

銚子市長正六位勳六等 川村芳次



# 第八章 實施機關

## 第一節 水道布設臨時委員會

水道布設事業遂行の機關として水道布設臨時委員規程を設置し昭和十一年十一月十六日市會に提出同日議決せり。

委員は市會議員全員にして其の氏名左の如し。

委員 (議席順)

加瀬道之助	宮本茂	大岩長松	大里庄治郎
酒井周治	篠塚福太郎	明石傳七	渡邊賢造
鎌倉國松	海保仙吉	椎名隆	辻野傳松
石上新藤	床枝吏三	岡本善夫	吉原隆治
樋口忠兵衛	宮内安藏	新川米吉	加瀬龜藏
根本松太郎	櫻井米吉	田邊五郎松	篠崎喜太郎



銚子市上水道誌

青野慎助 土手伊平

石井重吉

高木萬太郎

四六四

以上昭和十二年三月三日市會議員任期滿了ニ付退職

昭和十二年三月四日委員就職 (市會議員改選)

海保仙吉	石毛佐太郎
大里庄治郎	篠崎喜太郎
岩瀬寅松	青野慎助
土手伊平	新川米吉
石上新藤	廣野茂兵衛
根本松太郎	加瀬道之助
鎌倉國松	山口象治
野口喜久司	寺井久四郎
佐藤千代松	辻野傳松
加瀬喜衛	越川賢司
加瀬元彦	宮内安藏
昭和十二年三月二十九日退職	信田林藏
加瀬政之助	

櫻井米吉  
飯塚虎之助  
渡邊賢造  
宮本茂  
小林與助  
酒井周治  
信太政治

上野純良  
床枝吏三  
椎名隆  
吉原隆治  
山口清吉  
渡邊政治  
宇佐美清治

昭和十二年十月十八日退職

昭和十二年十二月六日就職

昭和十三年一月六日就職

第二節 職員

水道布設事業執行に當りたる本市吏員左の如し。

職名	氏名	任命及退職年月日	備考
市長	川村芳次		
助役	渡邊章六	水道課長事務取扱ヲ命ス 昭和十一年十一月十七日	
収入役	齋藤國衛		昭和十二年十二月二十四日水道課長事務取扱ヲ免ス



顧問	河野愛香	昭和十一年十月一日
水道技師	鈴木三郎	昭和十一年十一月十七日
水道書記	野口彌六	昭和十一年十一月十七日
"	石井貞吉	昭和十二年十月七日
"	栗林稻泰	昭和十三年六月三十日
水道技手	佐藤龜壽	昭和十二年八月三日
"	吉澤金造	昭和十一年十二月七日
"	熊手勝司	昭和十三年三月七日
"	伊藤光一	昭和十二年一月二十七日
雇	小倉忠雄	昭和十三年五月三十一日
"	川上孫藏	昭和十二年十一月七日
"	松本巳之藏	昭和十三年四月六日
"	和田仲尾	昭和十三年一月十七日
"	椎名軍司	昭和十二年二月十一日
"	高安武	昭和十二年九月三日

昭和十二年十二月二十四日水道課長ヲ命ス

"	"	"	三宅秀雄	昭和十三年五月三十一日
"	鴨下清	野尻博	"	"

### 第三節 規程

水道布設事業に伴ふ水道布設臨時委員規程水道布設に關する有給吏員定數規程、水道布設に従事する吏員諸給與條例は昭和十一年十一月十六日市會に提出同日議決せり右規程に附隨する諸規程は市長之を定めたり即ち左の如し。

銚子市水道布設臨時委員規程 (昭和一一、一一、一六日議決)

第一條 本市水道布設ニ關スル重要事項ヲ調査審議スル爲水道布設臨時委員ヲ置ク

第二條 委員ハ市會議員ノ全員ヲ以テ之ニ充ツ

附則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

銚子市水道布設ニ關スル有給吏員定數規程 (昭和一一、一一、一六日議決)

第八章 實施機關



第一條 水道施設ノ爲市制第八十五條ニ依リ左ノ有給吏員ヲ置ク

水道技師

水道技手

水道書記

第二條 前條有給吏員ノ定數ハ十名トス但シ市長ハ事務ノ都合ニ依リ豫算ノ範圍内ニ於テ定數ニ拘ハラズ他ノ市吏員ニ兼務ヲ命ズルコトヲ得

附則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

銚子市水道施設ニ關スル顧問設置規程

水道施設ニ關シ市長必要ト認メタル場合ハ豫算ノ範圍内ニ於テ顧問ヲ囑託スルコトヲ得

附則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

銚子市水道施設ニ關スル處務規程

第一條 本市水道施設ノ爲本市役所ニ臨時ニ水道課ヲ置キ課ニ左ノ係ヲ置ク

水道庶務係

水道工務係

水道經理係

第二條 課ニ課長ヲ置キ市吏員中ヨリ市長之ヲ命ズ

第三條 課長ハ上司ノ命ヲ受ケ主管事務ノ責ニ任ズ

課長事故アルトキハ主席技師、主席技師事故アルトキハ主席書記之ヲ代理ス

課員ハ課長ノ命ヲ承ケ擔任事務ニ従事ス

第四條 各係ノ分掌事務左ノ如シ

水道庶務係

一、文書ノ收受發送ニ關スル事項

二、會議ニ關スル事項

三、豫算決算ニ關スル事項

四、市債及借入金ニ關スル事項

五、土地及地上物件工作物ノ買收借入補償ニ關スル事項

六、其ノ他他ノ係ニ屬セザル事項

水道工務係

一、測量製圖及工事設計ニ關スル事項

二、工事ノ執行及監督ニ關スル事項

第八章 實施機關



- 三、工事材料及機械器具ノ検査受渡保管ニ關スル事項
- 四、工事出來形検査及報告ニ關スル事項
- 五、既成工作物ノ維持管理ニ關スル事項

水道 經理 係

- 一、收入支出ニ關スル事項
- 二、事務用需用品ニ關スル事項
- 三、物品ノ保管受渡ニ關スル事項但シ工務係ニ屬スルモノヲ除ク
- 四、工事請負人夫供給其ノ他物品購入、不用品賣却ノ入札執行及契約ニ關スル事項
- 五、其ノ他經理ニ關スル事項

第五條 本規程ニ定ムルモノノ外總テ本市役所處務規程(前各條ニ抵觸スルモノハ之ヲ除ク)ヲ準用ス

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

銚子市水道布設ニ從事スル吏員諸給與條例

第一條 水道布設ノ爲設置スル吏員ノ諸給與ニ關シテハ本條例ニ特別ノ規定ヲ設クルモノノ外本市名譽職員及其ノ他ノ吏員諸給與條例ヲ準用ス但シ之ガ準用ニ關シテハ水道技師ハ技師、水道技手ハ技手、水道書記ハ書記ト看做ス

第二條 市長ハ水道ニ從事スル吏員ニ對シ左ノ範圍内ニ於テ特別勤務手當ヲ支給スルコトヲ得

水道技師 月額金貳拾五圓以内

水道技手 月額金拾五圓以内

水道書記 月額金 拾 圓以内

前項ノ手當ハ左記ノ場合ニ於テハ日割計算ニ依リ之ヲ支給ス

一、旅費ヲ支給スル場合

二、缺勤シタル場合

三、中途任免シタル場合

第三條 前條ノ月額手當ハ毎月五日迄ニ前月分ヲ支給ス但シ中途解任シタル者ニ對シテハ解任後五日以内ニ之ヲ支給ス

附 則

本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス



## 第九章 用地

### 第一節 用地買収

用地買収が豫期の如く順調に運ぶと否とは直ちに事業遂行上に影響する所尠からざるを以て、水源、淨水場、給水場等の位置選定に當りては極めて慎重なる調査を遂げ豫め買収豫定價格を決定して買収の準備を整へ地主との買収交渉に先ち買収に伴ふ凡ゆる障害、紛糾を避くるため昭和十二年五月十三日水源地の地元たる長塚町區長外役員、同月十六日淨水場地元たる本城町農家組合長外役員に會合を求め市より市長、助役、鈴木技師、野口書記其他出席、市長より水道布設の急務と水源鑿井による耕作地に對する影響の有無等につき詳細に説明をなし水道用地買収に關し斡旋方協議交渉に及びたるも容易に應ずる色なく荏苒日を送るの状態に立ち至りたるを以て關係區地主をして神奈川縣埼玉縣地方に於ける實情を視察せしめて圓滿に了解を遂げ、同年七月十二日全部の土地賣渡承諾書を徴するを得たり。











同	同	同	本城町五丁目	本城町六丁目
計				
同	同	同	田	山林
七二	八	一八	六	一四
同	同	本城町三丁目	三崎町	本城町二丁目
				本城町三丁目
宮内佐太郎	名雪儀八	山口清吉	山口忠治	越川與三郎 外三名共有

一、送水管路用地

同	同	同	同	同	同	同	長塚町	同	本城町五丁目
計									
同	同	同	同	同	同	同	同	同	田
一五八	一〇	一六	一九	一五	八	二七	一六	六	四一
同	同	同	長塚町	同	同	同	本通一丁目	三崎町	本城町三丁目
飯田金治	早船徳太郎	椎名勝治郎	同	同	同	同	松本徳太郎	山口平藏	加瀬健造

一、導水管路用地

同	同
計	
同	同
八九三	一五六
同	春日町
同	加瀬
人保	四七八



## 第十章 給 水

### 第一節 使用 條 例

本市水道使用條例は昭和十三年四月二十七日市會の議決を経て同年四月三十日水道使用料に關する件許可稟請書を内務大藏兩大臣に同條例設定許可稟請書を本縣知事に左の如く提出し許可を得たり。  
議案第三號

銚子市水道使用條例設定ノ件

本市水道使用條例別紙ノ通設定スルモノトス

昭和十三年四月二十七日提出 同日議決

銚子市長 川 村 芳 次

銚子市水道使用條例

#### 第一章 總 則

第一條 給水ハ計量法ニ依ル但シ公衆栓、消火栓其ノ他之ニ依ルノ必要ナシト認ムルモノニ付テハ此ノ限リニ在

第十章 給 水



ラズ

第二條 本條例ニ於テ給水装置ト稱スルハ配水管ヨリ流末ニ至ル給水管及量水器ヲ除ク給水用具ヲ謂フ  
第三條 給水装置ヲ分チテ左ノ四種トス

一、専用 栓 一世帯又ハ一箇所ノ専用ニ供スルモノ

二、共用 栓 數世帯ノ共用ニ供スルモノ

三、消 火 栓 防火用ニ供スルモノ

四、公 衆 栓 公衆ノ共用ニ供スルモノ

共用栓及消火栓ハ之ヲ公設及私設ニ分ツ

第四條 給水装置ヲ新設、増設又ハ變更セントスルモノハ之ヲ市ニ講求スベシ

第五條 水道使用者ハ給水装置ヲ種別ノ異リタル用法ヲ以テ使用シ又ハ上水ヲ他ニ分與若ハ販賣スルコトヲ得ズ  
但シ特ニ承認ヲ得タル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第六條 専用栓ハ特ニ必要アリト認ムル場合ニ限り數世帯ヲシテ之ヲ聯合使用セシムルコトアルベシ

第七條 共用栓ハ特ニ市長ノ承認ヲ得タル場合ヲ除クノ外建坪八坪未満ノ家屋ニ居住スル者ニシテ専用栓使用料  
負擔ノ資力無キ者ニ限ル

前項ノ建坪ハ倉庫、物置ノ類ヲ除キ各階ヲ通算ス

第八條 共用栓使用者ハ總代人一名ヲ選定スベシ

前項ノ總代人ハ使用者ヲ代表シ使用料ノ納付其ノ他ノ事務ヲ處理スベシ但シ各使用者ハ連帶シテ其ノ責ニ任ズ  
ベキモノトス

第九條 共用栓ノ鑑札及鍵ハ使用世帯數ニ應ジ之ヲ交付ス

鍵ハ指定セラレタル共用栓以外ニ之ヲ使用シ又ハ轉貸スルコトヲ得ズ

鍵ヲ使用スル時ハ鑑札ヲ携帯スベシ

鑑札及鍵ハ水道ノ使用ヲ廢止シタルトキハ直ニ之ヲ返納スベシ

第十條 私設共用栓ハ使用者ノ居住スル土地又ハ家屋ノ所有者ニ非ザレバ其ノ新設ヲ請求スルコトヲ得ズ

第十一條 天災、事變ノ際其ノ他特ニ必要アリト認ムルトキハ私設共用栓ヲ他ニ使用セシムルコトアルベシ

第十二條 消火栓ハ火災、防火、演習又ハ特ニ承認ヲ得タル場合ノ外之ヲ使用スルコトヲ得ズ

私設消火栓ハ市ニ於テ之ヲ封緘ス

第十三條 天災、事變又ハ水道工事若ハ水壓維持其ノ他已ムラ得ザル事由アル場合ニ於テハ給水ヲ制限又ハ停止  
スルコトアルベシ

前項ノ制限又ハ停止ヲ爲サントスルトキハ急迫ノ事情アル場合ノ外豫メ其ノ日時、區域及原因ヲ告示ス

第一項ノ制限又ハ停止ニ因リ損害ヲ生ズルコトアルモ市ハ之ガ賠償ノ責ニ任ゼズ漏水又ハ斷水ニ因リ生ズル損  
害ニ付亦同ジ

第十四條 給水装置所有者給水区域内ニ居住セザルトキハ其ノ区域内ニ居住スル者ノ中ニ付保管者ヲ選定スベ



前項ノ保管者ハ使用料ノ納付其ノ他ノ事務ヲ處理スベシ

第十五條 水道ノ使用ヲ廢止シタルトキ若ハ廢止ノ狀態ニ在リト認ムルトキ又ハ給水装置所有者六月以上所在不明ニシテ且保管者ナキトキハ給水管ヲ切斷スルコトアルベシ  
前項ノ切斷ニ因リ損害ヲ生ズルコトアルモ市ハ之ガ賠償ノ責ニ任ゼズ

第二章 給水装置ノ工事及工費

第十六條 給水装置ノ工事ハ市ニ於テ之ヲ施行ス但シ特ニ承認ヲ得タルトキハ請求者ニ於テ自己ノ材料若ハ勞力ヲ提供シ又ハ自ラ流末工事ヲ爲スコトヲ得

前項但書ノ場合ニ於テハ設計、工事及材料ニ付検査ヲ受クベシ

第十七條 給水装置ノ位置ハ請求者ノ指定ニ依リ之ヲ定ム但シ不適當ナリト認ムルトキハ之ヲ變更セシムルコトアルベシ

第十八條 他ノ給水管ヨリ分岐引用セントスル者ハ本管所有者ノ承諾ヲ得ベシ

第十九條 給水装置ノ工費ハ公道内ニ屬スルモノヲ除クノ外請求者ニ於テ之ヲ負擔スベシ但シ衛生上必要アリト認ムルトキハ之ヲ減免スルコトアルベシ

第二十條 工事ノ請求者ハ市ノ指定スル工費概算額ヲ豫納スベシ但シ官公署其ノ他其ノ必要ナシト認ムルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

概算額豫納ノ告知後十五日以内ニ之ヲ納付セザルトキハ請求ヲ取消シタルモノト看做ス

概算額ハ工事竣功後精算シ差額アルトキハ之ヲ追徴又ハ還付ス

工費ノ完納ニ至ル迄ハ請求者ニ於テ給水装置ヲ保管スベシ

工費完納前給水装置ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ不可抗力ニ因ル場合ト雖モ未納ノ工費ハ之ヲ徴收ス

第二十一條 給水装置ノ所有權ハ其ノ工費ヲ完納シタルトキニ於テ請求者ニ歸屬ス

第二十二條 工費ハ十二月以内ニ於テ之ガ分納ヲ承認スルコトアルベシ

前項ノ場合ニ於テハ毎月工費ノ二百分ノ一ニ相當スル割増金ヲ徴收ス

第一項ノ場合ニ於テハ第一回分納金納付後工事ニ着手ス工費完納前給水装置ノ撤去ヲ請求セントスル者ハ未納金ヲ即納スベシ

第二十三條 工費ヲ指定期間内ニ納付セザルトキハ既設ノ給水装置ヲ撤去スルコトアルベシ

前項ノ場合ニ於テハ撤去シタル給水装置ヲ處分シテ未納ノ工費ニ充當シ差額アルトキハ之ヲ追徴又ハ還付ス

第二十四條 特ニ必要アリト認ムルトキハ給水装置ノ検査又ハ加工ヲ爲スコトアルベシ

前項ノ場合ニ於ケル工費ハ給水装置所有者ニ於テ之ヲ負擔スベシ但シ特別ノ事情アルトキハ之ヲ減免スルコトアルベシ

第二十五條 給水装置ノ工事竣功後百日以内ニ之ヲ毀損シタルトキハ市ノ費用ヲ以テ之ヲ修補ス但シ其ノ毀損ガ使用ノ故意又ハ過失ニ因ルモノナルトキハ此ノ限ニ在ラズ



第二十六條 量水器ハ無料ニテ給水装置所有者若ハ保管者ニ之ヲ貸與ス量水器ノ貸與ヲ受ケタル者之ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ市ノ指定スル金額ヲ辨償スベシ

第三章 使用料及手数料

第二十七條 使用料ハ水道使用者ヨリ之ヲ徴收ス

給水装置所有者又ハ保管者ハ使用料納付ニ付水道使用者ト連帶シテ其ノ責ニ任ズベキモノトス

第二十八條 使用料ハ左ノ區別ニ據ル

本條ニ於テ一月ト稱スルハ前月ノ量水器點檢時ヨリ當月ノ點檢時ニ至ル期間ヲ謂フ

一、專用 栓

(一) 基本 料金

一世帯一月ノ使用水量十立方「メートル」ヲ基本水量トシ其ノ料金ヲ左ノ通りトス

量水器又ハ給水管ノ口径

基本料金

- (イ) 十三「ミリメートル」迄 一圓三十錢
- (ロ) 十六「ミリメートル」迄 一圓四十錢
- (ハ) 二十「ミリメートル」迄 一圓五十錢
- (ニ) 二十五「ミリメートル」迄 二圓也
- (ホ) 五十「ミリメートル」 三圓也

- (ヘ) 七十五「ミリメートル」 四圓五十錢
- (ト) 百「ミリメートル」 六圓也
- (チ) 百「ミリメートル」ヲ超ユルモノ 十圓也

(二) 超過 料金

一月ノ超過水量五十立方「メートル」迄	一立方「米」ニ付	十二錢
同	同	同
二百立方「メートル」迄	同	十錢
同	同	同
五百立方「メートル」迄	同	八錢
同	同	同
千立方「メートル」迄	同	七錢
同	同	同
二千立方「メートル」迄	同	六錢
同	同	同
五千立方「メートル」迄	同	五錢
同	同	同
五千立方「メートル」ヲ超ユルモノ		四錢

二、共用 栓

一世帯一月ノ使用水量五立方「メートル」ヲ基本水量トシ其ノ料金ヲ五十錢トス

一月ノ使用量基本水量ヲ超ユル場合ニ於ケル超過料金ハ一立方「メートル」ニ付八錢トス

三、消火栓及公衆栓

使用料ヲ徴收セズ



四、消火栓演習料

一箇ニ付使用時間十分毎ニ一圓

第二十九條 使用料ハ毎月量水器ヲ點檢シ其ノ使用水量ニ依リ査定シ翌月之ヲ徵收ス但シ官公署ノ使用又ハ臨時使用ノ場合ニ於テハ隨時之ヲ徵收スルコトアルベシ停止廢止ノ場合亦同ジ

第三十條 使用水量ガ基本水量ニ滿チザルトキト雖モ基本料金ハ之ヲ徵收ス

月ノ中途ニ於テ水道ノ使用ヲ開始、停止又ハ廢止シタル場合ニ於テ使用日數十六日ニ滿チザルトキハ第二十八條ニ規定スル基本料金ノ半ヲ以テ其ノ月ノ基本料金トス但シ超過料金ハ使用日數ニ拘ラズ第二十八條ノ規定ニ依リ之ヲ徵收ス

使用ノ停止又ハ廢止ノ届出ナキトキハ水道ヲ使用セザル場合ト雖モ基本料金ハ之ヲ徵收ス第三十八條ノ規定ニ依リ給水ヲ停止シタルトキ亦同シ

第三十一條 一世帯若ハ一箇所ニ於テ數箇ノ量水器ニ依リ給水スルモノハ各量水器ノ表示水量ヲ合算シテ其ノ使用水量ヲ定ム

前項ノ場合ニ於テハ基本料金ハ口徑ノ最大ナルモノニ付之ヲ徵收ス

第三十二條 共用栓又ハ第六條ニ規定スル専用栓ノ使用水量ハ各世帯均等ト看做ス

第三十三條 給水装置又ハ量水器ニ異狀アリタルトキ若ハ臨時ノ給水ニシテ量水器ヲ裝置セザルトキハ市ニ於テ其ノ使用水量ヲ認定ス使用料ノ通脫ヲ圖リタルトキ亦同ジ

第三十四條 量水器又ハ給水管ヲ變更シタルトキハ其ノ月ノ使用料ハ口徑ノ大ナルモノニ付之ヲ徵收ス

第三十五條 公益上必要アリト認ムルトキハ使用料ヲ減免スルコトアルベシ使用者貧困ナルトキ亦同シ

第三十六條 使用料ハ第十三條又ハ第三十八條ノ規定ニ依リ給水ノ制限又ハ停止ヲ爲シタルトキト雖モ之ヲ減免セズ

第三十七條 手数料ハ左ノ區別ニ依リ之ヲ徵收ス

一、設計手数料 請求ニ依リ工事ノ設計ヲ爲シタルモ工事ヲ施行スルニ至ラザリシ場合ニ於テ請求者ヨリ之ヲ徵收ス

工事一件ニ付二圓以内

二、工事検査手数料

一件ニ付二圓以内

三、材料検査手数料

認定價格ノ百分ノ五以内

四、量水器試験手数料 請求ニ依リ試験ヲ爲シタル結果異狀ヲ認メザリシトキ請求者ヨリ之ヲ徵收ス

一箇ニ付一圓乃至五圓

五、共用栓ノ鑑札又ハ鍵ノ再交付手数料

一箇ニ付二十錢

鑑札又ハ鍵ヲ毀損シタル場合ニ於テ原形ヲ認メ得ベキトキ又ハ不可抗力ニ因リ亡失シタルトキハ再交付手数料



ハ之ヲ徴收セズ

第四章 違反處分

第三十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者アルトキハ五圓以下ノ過料ニ處シ且二十日以内其ノ者ニ對スル給水ヲ停止ス

- 一、量水器又ハ給水管ニ加工シ其ノ他不正ノ方法ヲ以テ水道ヲ使用シタル者
  - 二、承認ヲ經ズシテ上水ヲ他ニ分與若ハ販賣シタル者
  - 三、承認ヲ經ズシテ防火ノ目的以外ニ私設消火栓ヲ使用シタル者
  - 四、共用栓ノ鑑札又ハ鍵ヲ指定以外ノ共用栓ニ使用シ又之ヲ轉貸シタル者
  - 五、故ナク水道掛員ノ調査ヲ拒ミ其ノ他職務ノ執行ヲ妨ゲタル者
  - 六、承認ヲ經ズシテ給水装置ノ増設、變更其ノ他ノ工事ヲ爲シタル者
- 前項第一號乃至第四號ニ該當スル場合ニ於ケル逋脱使用料ハ之ヲ追徴ス
- 第三十九條 使用料手數料又ハ工費ヲ指定期限内ニ納付セザル者ニ對シテハ其ノ完納ニ至ル迄給水ヲ停止シ且百圓ニ付一日三錢ノ割合ヲ以テ損害金ヲ徴收スルコトアルベシ
- 第四十條 水道使用者又ハ給水装置所有者ハ其ノ家族、同居者又ハ保管者ノ行爲ニ付自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ第三十八條ノ處分ヲ免ルルコトヲ得ズ
- 第四十一條 本條例施行上必要ナル細則ハ市長別ニ之ヲ定ム

附則

本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
給水普及上必要アリト認ムルトキハ市長ハ使用料又ハ工費負擔額ヲ減額スルコトヲ得  
銚水第一五號

昭和十三年四月三十日

銚子市長 川村芳次

千葉縣知事 多久安信殿

銚子市水道使用條例設定許可稟請

本市水道使用ニ關シ水道使用條例ノ設定ヲ必要トシ別紙ノ通市會ノ議決ヲ經候條御許可相成度此段及稟請候也

理由書

本市水道布設工事モ進捗セルヲ以テ水道使用條例ヲ設定シ來ル七月上旬ヨリ一般ニ給水ヲナサムトスルモノナリ

議決書謄本

銚子市水道使用條例設定ノ件

本市水道使用條例別紙ノ通設定スルモノトス

昭和十三年四月二十七日議決

右議決書ノ謄本也

第十章 給水



昭和十三年四月三十日

銚子市長 川村 芳次

(別紙省略ス)

銚水第一六號

水道使用料ニ關スル件許可稟請

本市水道使用ニ關シ使用料徴收ノ爲水道使用條例中(自第二十七條)ニ使用料徴收ニ關スル規定ノ設定ヲ必要トシ別紙ノ通市會ノ議決ヲ經候條御許可相成度此段及稟請候也

昭和十三年四月三十日

銚子市長 川村 芳次

内務大臣 末次信正殿

大藏大臣 賀屋興宣殿

添付書類 (省略ス)

理由書

議決書謄本

地第八六二號

昭和十三年七月十一日

千葉縣 總務部長

銚子市長 殿

水道使用料ニ關スル件

昭和十三年四月三十日銚水第一六號稟請上水道使用料設定ノ件別途許可相成候條許可書及送付候也  
内務省千地第四三號

千葉縣 銚子市

昭和十三年四月三十日銚水第一六號稟請上水道使用料設定ノ件許可ス

昭和十三年七月一日

内務大臣 末次信正

大藏大臣 池田成彬

地第一一六五號

銚子市

昭和十三年四月三十日附銚水第一五號稟請銚子市水道使用條例設定ノ件許可ス

昭和十三年七月二十五日

千葉縣知事 多久安信



以上十月二十七日施行を公布した。

## 第二節 給水開始

水道布設工事は豫期以上に進捗しつゝあるを以て給水申込の受附を開始するの準備として先づ昭和十三年四月六日區長會を開催して、各區長に對し水道普及員を囑託し毎戸に宣傳ビラを配布して遍く之を市民に知らしめ、同年四月八日之が受附を開始すると共に勸誘班三班を編成し、水道普及員と共に毎戸洩なく之が勸誘に努め同年六月四日を以て専用栓三千二百戸の多數の申込を受けたり。仍て同年六月十八日より給水工事の施工を開始し同年十月二十七日日本縣知事に給水開始届出を了し直に一部給水を開始し、昭和十四年三月末を以て全工事の完了を告げたり。

銚水第三二號

給水開始届

本市上水道布設工事一部竣功致シ候條來ル十一月一日ヨリ給水開始致シ度候ニ付及御届候也

昭和十三年十月二十七日

銚子市長 川村芳次

千葉縣知事 多久安信殿

### 水道使用の御奨め

市民の幸福と市の永遠の繁榮の爲に

水道の御使用を是非お奨め致します

公共的見地に立ち此の際奮つて御加入を希望致します

市民の眞の幸福、市の眞の繁榮を期する爲の一大事業たる本市上水道は愈々近く給水の豫定であります

本市上水道の使命とする所は

- 一、市民の保健衛生上絶対に必要であること
  - (1) 市内の井戸水は検査の結果其の約八割は、水質不良で飲料水に適せず、保健衛生上危険であります。
  - (2) 色々の傳染病は水に依りて媒介せらるゝ場合が非常に多いことは明瞭な事實であります。
  - 二、市内の火災豫防上絶対に必要であること
  - 三、市の産業振興上絶対に必要であること
- 以上の三大使命を完全に果す爲には、市民諸君が全く公共的見地に立つて上水道を使用することに歸着するのであります。即ち一人でも多く上水道を使用することが結局市民相互の幸福を増進し市永遠の繁榮に貢献する所以であります。何卒此の點を篤と御諒解になつて奮つて加入あらんことをお奨め致します。

### 参考

(イ) 水道使用の申込は市水道課で受付けます。



- (ロ) 此の際の申込に限り家事用の給水引込工事費一栓分(概算二十五圓)は免除致します。
- (ハ) 市内への給水開始は本年七月の豫定であります。
- (ニ) 水道使用料は普通家事用最低料金一ヶ月一圓三十錢であります。
- (ホ) 水道の使用料は普通家庭用ならば「日僅に煙草」しきしま「四本半の代にも足りない位安いものです。それで家族一同が健康になり、雨の日でも風の日でも寮所に居ながら使ふことが出来て、洗濯物など見違へる程綺麗に、婦人の方など色さへ白くなると言ふのですから、こんな結構な便利な有り難いものはないでせう。

昭和十三年四月

銚子市水道課

水道使用の御奨め

一、理想的な水道

銚子市の水道は鑿井で地下の深い處から取水するのですから四季共に減水の心配がありませんし水の濁れがちな夏になつても何の不自由も無く安心して使用が出来ます。又地下深層から湧出する水でありますから、その儘でも立派な水であることは東京市の衛生試験所で證明してあります。これは本市水道の誇りとしてゐる處であります。其上濾過して更に殺菌しますから頗る清澄で衛生的なことは今更申上ぐるまでもありません。従つて生の儘召上つても心配も無く全く理想的な水道であります。

二、市内の掘井戸は大體飲料不適、銚子市内の掘井戸は其の約八割が飲料に不適當であるといふ試験證を附けら

れてゐます。殊に中には人體に有害な水もあつて健康上甚だ危険であると謂はねばなりません。そこでどうしても安心して使用出来る水道を使用して衛生上の危険から免れるやうお奨め致します。

三、掘井戸と汚水の浸透、普通の掘井戸には附近の汚水が浸透する虞があるので衛生上頗る危険であります。故に井戸を掘つた當時は極めて水質の良かった水も其の後漸次水質が悪變して遂には飯料不適となつた例も少くありません。是は言ふ迄もなく附近の汚水が浸透に依つて起つたのでありますから一日も早く水道を使用して斯様な危険からのがれる事をお奨め致します。

四、掘井戸と傳染病の蔓延、普通の掘井戸は水面が空氣に暴露してゐるので各種の傳染病菌が入つたり又は汚水と共に菌が浸透して來まして各種の傳染病の媒介となる例が少くありません。即ち「チヨウチフス」の如きは共同井戸を使用する所に必ず一時に蔓延いたします。水道には絶対に左様な危険はありません。

五、水道と家庭消防

水利の便の悪い事は火災消防上重大な缺點でありまして如何に訓練の積んだ消防組を以てしても亦如何に優秀な「ポンプ」を設備しても水利の便を得ずしてよく消火の目的を達することが出来ませうか、最近市内に起つた數回の大火の經驗に徴しても水利の便の甚だしく悪かつたことは切實に感じたところであります。そこで水道が全市内に限なく消火栓を配置して水利の便を完備し、市民の生命財産の安全を期せんとするものであります。而して火災は其の出火の當初に迅速に鎮滅を計つたなれば極めて小範圍に其の被害を止める事が



出来他に迷惑を掛けずに済みます事が出来ます。

そこで家庭消防の必要を痛感する次第でありまして、各家庭の水道に依つて非常の場合には直に消火の方法を講ずる様に事前に萬全の備をなして置く事が各戸の財産を護ると共に市民の共榮を來す基であります。公設消防の完備と相俟つて家庭消防を充實しお互に災害から免れる様水道の使用をお奨めします。

昭和十三年四月

銚子市水道課

銚子市水道課

水道ニ關スル料金一覽  
一、水道引込工事料金  
一栓ニ付 概算金二十五圓

◎特典

此ノ際申込者ニ對シテハ一栓分ノ料金ハ免除致シマス

二、水道使用料

左表ニ依リ御承知ヲ願ヒマス

量水器又ハ給水管ノ口径	ケ月一戸一 一〇〇立 方米		ケ月一戸一 一〇〇立 方米		ケ月一戸一 一〇〇立 方米		ケ月一戸一 一〇〇立 方米		ケ月一戸一 一〇〇立 方米		ケ月一戸一 一〇〇立 方米	
	一 三 用 造	一 四 〇	一 五 〇	二 〇 〇	二 五 〇	三 〇 〇	三 五 〇	四 〇 〇	四 五 〇	五 〇 〇	五 五 〇	六 〇 〇
一三用造	一三〇	一九〇	二一〇	二六〇	三二〇	三九〇	四六〇	五三〇	六〇〇	六七〇	七四〇	八一〇
一六用造	一四〇	二〇〇	二二〇	二八〇	三四〇	四一〇	四八〇	五五〇	六二〇	六九〇	七六〇	八三〇
二〇用造	一五〇	二一〇	二三〇	二九〇	三五〇	四二〇	四九〇	五六〇	六三〇	七〇〇	七七〇	八四〇
二五用造	二〇〇	二六〇	二八〇	三四〇	四〇〇	四七〇	五四〇	六一〇	六八〇	七五〇	八二〇	八九〇
五〇用造	三〇〇	三六〇	四二〇	四八〇	五四〇	六〇〇	六六〇	七二〇	七八〇	八四〇	九〇〇	九六〇
七五用造	四〇〇	四六〇	五二〇	五八〇	六四〇	七〇〇	七六〇	八二〇	八八〇	九四〇	一〇〇〇	一〇六〇
百耗造	六〇〇	六六〇	七二〇	七八〇	八四〇	九〇〇	九六〇	一〇二〇	一〇八〇	一一四〇	一二〇〇	一二六〇
百耗以上	一〇〇〇	一〇六〇	一一二〇	一二〇〇	一二八〇	一三六〇	一四四〇	一五二〇	一六〇〇	一六八〇	一七六〇	一八四〇











科	款	項目	算		種目	本年預算額	前年度預算額	增減	附記
			預算額	種目					
一、事務費	一、給料	一、給料	11,811	11,811	一、技師以下	11,811	11,811	-	金二千四百圓 技師一人年俸額 金二千四百圓 書記書記補四人月俸平均五十 金壹千五百六十圓 按手二人月俸平均六十五圓
			3,300	3,300					
二、雜給	二、雜給	二、雜給	4,496	4,496	二、旅費	800	800	0	臨時傭人延百六一人一日金一圓
			4,496	4,496	三、雇員給料	2,100	2,100	0	雇員五人一人月俸平均金三十五圓
三、給與金	三、給與金	三、給與金	1	1	四、使丁給及	3,396	3,396	0	金百八十三圓 給使丁一人日給金五十圓 使丁一人日給金一圓
			1	1	五、備人料	100	100	0	臨時傭人延百六一人一日金一圓
七、手當	七、手當	七、手當	110	110	六、借地料	110	110	0	囑託一人月額金十圓

三、需用費		種目	本年預算額	前年度預算額	增減	附記
一、備品費	九、賞與					
1100	200	八、補給金	200	200	0	千葉縣市町村吏員互助會乙種會員十六人一人金六圓
1000	100	九、賞與	100	100	0	
100	100	一、備品費	100	100	0	
100	100	二、消耗品費	100	100	0	
100	100	三、印刷費	100	100	0	
100	100	四、運搬費	100	100	0	
311	311	五、賄費	311	311	0	金二百九十九圓六十錢 吏員宿直補助二人一人一夜金三十圓 工宿直補助一人一夜金二十圓 臨時夜勤補助料 金十八圓
31	31	六、被服費	31	31	0	金三十六圓 給使丁二人一人金十八圓 給士十六圓 給士以下八人一人金七圓
100	100	七、電話費	100	100	0	金八十一圓 電話維持費 金十九圓 專用電話維持費
110	110	八、點燈費	110	110	0	
110	110	九、借地料	110	110	0	











昭和十七年二月十日印刷  
昭和十七年二月十五日發行

# 銚子市役所

銚子市末廣町三丁目二三五  
銚子市長

編纂者兼  
發行所  
川村芳次

印刷者  
東京市牛込區西五軒町五二  
長南善次郎

印刷所  
東京市牛込區西五軒町五二  
帝國法規出版株式會社印刷工場



929

54



終